



西山樓帆船運珠茶會社

電話  
八八〇〇八二五七番

岡山市上石井二七番地

卷一百一十五

都 父

兒

原	水川猿三郎	島	郡	平野	友士	平井	英一	都志	賈一	樋口	智恵子	井上	節夫	濱野	三郎	高	範貞	南木	美代子	仲田	茂	齋原	透			
原	勝治	島	郡	水川猿三郎	島	郡	平野	友士	平井	英一	都志	賈一	樋口	智恵子	井上	節夫	濱野	三郎	高	範貞	南木	美代子	仲田	茂	齋原	透
原	勝治	島	郡	水川猿三郎	島	郡	平野	友士	平井	英一	都志	賈一	樋口	智恵子	井上	節夫	濱野	三郎	高	範貞	南木	美代子	仲田	茂	齋原	透
原	勝治	島	郡	水川猿三郎	島	郡	平野	友士	平井	英一	都志	賈一	樋口	智恵子	井上	節夫	濱野	三郎	高	範貞	南木	美代子	仲田	茂	齋原	透
原	勝治	島	郡	水川猿三郎	島	郡	平野	友士	平井	英一	都志	賈一	樋口	智恵子	井上	節夫	濱野	三郎	高	範貞	南木	美代子	仲田	茂	齋原	透

文房具 事務用品  
**正雲堂**  
岡山市下之町  
電話二九四〇

續刊行錄

風	底	雅
(長)伊勢	轄三	三村
(幹)池町	小野 洋二	二子 蘭
留田	中山 正次	林 正義
矢谷	徳山 武一	久子
本名	力(幹)岡本好之助	猪四郎
井口與志子	松田 杉山	杉
西下	鈴木 正次	孟(副)
鈴木 優	河嶋 謙藏	杉山
川西道太郎	須賀忠治郎	正義
石巖	五郎(幹)遠藤 重驚	久子
谷田 豊	遠藤堅治郎	林
(幹)湯口	柴田 太郎	二子
鶴岡	脚助(幹)鶴岡 稔	蘭
三村 友美	大庭 道三	三村
苦	田 郡	
(幹)西村 太郎	光澤 聖作	
鳴山英二郎	佐々木柳大郎	
白石 功(幹)藤本 純二		
鷺木 魁	万袋 道三	
(幹)若田 猛	菅谷勝太郎	
副山友一富	藤井 正代	
牧野千鶴子(幹)山本 麗		

四

齒科醫師名鑑

井上 泰坐	西下 腾馬	鶴羽介 治郎(副)	内田 唯一
近光 章一	石手 浩	坂手 敏明	浦上 浦上
役員	岡山縣醫科醫師會	【事務所】岡山市西田町二六	景山氏方(電七、二〇)
會長 副會長	沼本 正勇	三浦 良藏	今田 清
理事 事務理事	井上 森下	伏屋 忠繁	田淵 勝鑑
岡山市	大恒	大壽	渡 食
辻 淵野	横山 佐野	正勇	公平 茂
水野 部	沼本 西岡	佐々木清作	雪雄
森下 福田	休夫 幸六	佐々木清作	小川 虞雄
益二 宿	造四		

三浦 鳥取 小坂 佐武 伏畠 横畠 田口 佐小  
馬場 寺尾 角田 井上 豊山 住時 寶岡 堀切 板野 岡崎 大森 德治郎 敬直 亀元 一雄 鄭輔 晋一  
務 實 知都 李猛 正賢 正衛 雄徹 昌節 雄徹 兼重 今田 儿島 近藤 田中 飛田 本山 青川 田口  
黒住 原和氣 櫻本熙一郎 曾平正勝 藤郷恒彦 梶三辰 聰雄 純一 稔六 惇壽 蘭隆 光子 佐々木邦夫  
吉春 輝男 關勇 一山 常勝 鶴齋 一勝 勝羅 鶴齋 一鶴 朝雲 木村 幸平 井上 木村 森本 本津  
利男 達雄 萬野 一鶴 朝雲 木村 幸平 井上 木村 森本 本津 下臣 大飴

【事務所】岡山市大供三九	【事務所】岡山縣藥劑師會
(電二、三二)	
役員	
會長 林 源十郎	
副會長藤原 義男	池田 寿久太
理事 近藤鶴之助	山口 勳
堀 萩野 喜一	久山 勝
安田 忠雄	森本 敏雄
和之	神谷 五十五
堀 忠雄	藤原 義男
安田 和之	中山 劍
和之	西嶋 四郎
堀 忠雄	西尾 寛
安田 和之	久六
堀 忠雄	草野 富滿枝
安田 和之	良卓
堀 忠雄	正一
堀 正一	二宮 敏介
堀 良卓	西村 源十郎
堀 忠雄	石山 正義
堀 良卓	伊賀 亮二
堀 忠雄	池田 寿久太
堀 良卓	岡山 市
堀 忠雄	同豫備議員
堀 良卓	岡山市

立若 文子 享一  
畠 勝 大山 秀男  
大石誠一郎 富山真佐子  
尾關安五郎 大熊重三郎  
渡邉千代次 萩野 利男  
川崎 弘之 竹内喜  
川本 英雄 渡邊 韶子  
片尾圭四郎 河本 喜  
高畠 富田 余公 正子  
高畠 佐田 加藤 正房  
田淵 菅原 正臣  
永原善太郎 河原 利男  
猛 賈柴 房  
晴雄 勵 余公 正子  
武藤 隆次 高原 信二  
向井 勵 余公 正子  
上原 勵 余公 正子  
中山 中村 寺見 重郎  
中川 中野 國香 時雄  
山村 井上 田中 信二  
山村 国富 宇野 黃雄  
山村 上田 繁自 重郎  
山村 久海 須崎 信二  
松村 三重 松澤 隆惠 信二  
藤原誠一郎 松本 謙 信二  
藤波愛次郎 藤原古太郎 信二

津	平野新一郎	佐藤 輝平	村上 多喜	佐野 審内
山 市	櫛爪四方平	鈴木 魁彦	本田 勝	村上 勝
飯田 四農	戸井 良昌	立石迪之輔	神谷 五十五	大庭 功
牧野 梅子	服部 正助	伊達 英次	實成興十郎	萩尾キタ
倉内 成憲	大賀 美吉	太田 菊二	坂口 正	神谷 五十五
中村	横田 時衛	横田 時衛	竹久 松代	大庭 功
正	山本 武平	山本 武平	中村	萩尾キタ
坂口	鈴木 昌二	久山 三重	清	大庭 功
正	上山美佐子	山名 三重	清	大庭 功
坂口	尾垣 正男	久山 中村	英子	大庭 功
正	片山 武雄	横山 季太	清	大庭 功
坂口	鈴木泰次郎	片山 林平	英子	大庭 功
正	農谷川芳雄	山本 真一	清	大庭 功
坂口	和氣 郡	小原 祥重	英子	大庭 功

小	田 郡	定金 玉惠	渡辺 夕矢
坂本 勇一	西木 佐平	田島 宗	西木 昌輔
山田 平吉	酒井健一郎	酒井健一郎	酒井健一郎
高田 秀太	横山補之助	森谷 吉雄	森谷 吉雄
横山補之助	金平 清	坂本 勇一	坂本 勇一
小田 君子	小田 節二	當間 武彦	當間 武彦
田村 中西	田中 敏夫	多木 元彦	多木 元彦
中西 伯男	田中 敏夫	坂本 勇一	坂本 勇一
河原 池田	河原 三平	渡辺寅太郎	渡辺寅太郎
信孝	信孝	森谷 吉雄	森谷 吉雄
大西 矢吹	大西 隆一	坂本 勇一	坂本 勇一
矢吹 九三	矢吹 九三	坂本 勇一	坂本 勇一
佐藤 持	佐藤 持	坂本 勇一	坂本 勇一
安名 調	安名 調	坂本 勇一	坂本 勇一
山岡 千久勇	山岡 千久勇	坂本 勇一	坂本 勇一
大西 隆一	大西 隆一	坂本 勇一	坂本 勇一
佐藤繁太郎	佐藤繁太郎	坂本 勇一	坂本 勇一
横見 岩原	横見 岩原	坂本 勇一	坂本 勇一
小谷 海洋	小谷 海洋	坂本 勇一	坂本 勇一
難波武太郎	難波武太郎	坂本 勇一	坂本 勇一
樋口 政二	樋口 政二	坂本 勇一	坂本 勇一
金重 秋太	金重 秋太	坂本 勇一	坂本 勇一
繩鹿 騰美	繩鹿 騰美	坂本 勇一	坂本 勇一
上 房 郡	櫻 月 郡	櫻 月 郡	櫻 月 郡

川上郡	新田五郎 萩原正三 阿哲郡	畠田新太郎 吉田源三郎 瀬谷活三	平松鑑三郎 田伸勝治 福田新太郎 林知良
勝田郡	赤堀慶興 平山順一 木村孝 山本正重 山本謙	赤堀儀三郎 高橋儀三郎 赤野省三 近藤常子 安東みね子	櫻井太刀雄 糸井昇三 山田万壽助 山本正重 山本謙
英田郡	赤堀慶興 平山順一 木村孝 山本正重 山本謙	赤野省三 近藤常子 安東みね子	櫻井太刀雄 糸井昇三 山田万壽助 山本正重 山本謙
眞庭郡	國米熊太郎 多和雅准 大國正隆 横山弘毅	飯田吉廣 緒形美通 内田彦二 原綠	櫻井太刀雄 糸井昇三 山田万壽助 山本正重 山本謙
安藤原郡	安藤藥師寺 横山宮島 正茂	飯田喜久代 櫻井寺敬祐 神庭方	櫻井太刀雄 糸井昇三 山田万壽助 山本正重 山本謙

藥劑師名鑑

決戦下鉄後國民の體操は單に單なる興味本位のものであり得べからざるは勿論眞に健民健兵への鍛成に最直・否適に戦場に通するものであらねばならぬ、この國家的要請に應へて昭和十七年秋から十八年夏へかけてこの岡山縣下體育界の革新新振りは實に目麗しいものがあつた、即ち合同新聞社が主催する西日本體育大會は十七年十、十一の両月に亘つて陸上綜合競技古武道各流型大會・卓球男子都市對抗戦並に女子個人戦の三種目を舉行、殊に陸上綜合競技では堂々縣下各界の精銳一万余名を集め更に世界短距離界の名手吉岡隆徳氏を大會審判長として招請し、終始決戦下に相應しく嚴格なる規律の下に實に地方的神宮大會ともいふべき一大健民運動を繰展げ決戦下

古錫城

の國日體録は斯くあるべきを曰  
十三万縣民へ範示した近時學徒、  
一般共に多事多端のため體育訓練  
時間は大に不足を來してゐるにも  
拘らず岡山縣民がこの超非常時局  
を十分に認識し國家目的に副ふ心  
身の鍛成に徹して強靱な體力と大  
戰を勝ち抜く

殿女子個人に岡崎文子(國久高女)が優勝、入江品子(同)第一位、若林房子(同)第四位および男子中等部集団に第五位入賞など、庭球岡山、  
体操岡山の面目を大に發揮した。▲このほか戦場運動手榴弾投擲で關西中學の第一位、▲走高高跳で近藤時正(一中)の第三位、▲排球女子中等部で山陽高女第三位入賞などこれまた前者同様の縣く戦果を挙げた。なほ夏季大會においても参加九選士が敢闘の結果おいても参加九選士が敢闘の結果別記の如き燐然たる成績を獲得、中でも歸還勇士の片山富士太郎(日比製糖)の五十米潛泳第二位入賞は大に揮とすべく、さすが前線で鍛へ上げた強者の感を深くさせた。以上の好成績に醉ふことなく更に精進を重ねこの漲る氣魄をもつて聖戰完遂に邁進せられんことを特に切望して止まない。

◆大東亞戰爭も第三年目の昭和十八年を迎へて愈よ決戦段階に突入、巨大な生産力に總反攻を呼號し虎視眈々我が本土空襲を狙ふ敵

アリューシヤンに、南西南太平洋に日々悽愾苛烈の度を加へつゝ隨所に展開され勝ち抜くか・さもなれば地球上から抹殺されるかの將近に迫つた。茲においてわが一億の総蹶起となり、この決戦を勝ち抜くために國內各部面に物心両面の強化が要請され、國民體育訓練も亦百八十度の轉回をもつて國家の要請に應へるべく訓練の目標を戰力増強の一點に凝集した。即ち▼三月二十九日には文部省から

**岡山縣工藝協會**

方、岡山縣工  
協會

岡山高知間一回線、市内直

官研翼、木口九峯、瀧江一郎治  
小池寅次郎、後藤喜美榮、袖木  
宗仙、岡本蕭一、山本陶秀、大  
野昭和齊、赤木祐三郎、木村兵  
次、神崎熊治、山本象石、双田  
徳太郎、木村貢一、鶴田憂輔、  
黒田壽太郎、納所松堂

つてもこれに準すべき國防訓練その重點を置かねばならぬ、更に訓練は必ずこの學生が平素それを實施し得るものたる上を要し從來の選手制度の如く一部少數のものによつて壊滅せられ大多數の學生はそれに參與し得ないといふが如き方法は極力これを避けよといふのがその本旨である。この要綱の發表に依つて野球を始め激性國からの移入競技全般の極論を唱へる者さへ出で、またこれが反對意見との間に齧々たる世論を齧え起しが、結局はその長所を生かし、資材關係とも睨み合せて日本的競技内容に改め、かつ日本精神をもつて行はしめようとの指導方針の一一致を見るに到つた、殊にフジビの如きは激性競技ではあるが、わが無敵海軍魂録成に最適の競技なりとして大に推進され名稱も「開球」工政稱學童、中等學徒、大學專學徒とそれぐの接觸に應じて競技規則を變へて實施せしめることとなつた、その他の競技もこれに随ひ漸次競技内容なり、用

語なりを日本の如く改め決戦下學徒の戦力増強に役立つ競技として新設を遂げつゝあるの現状にある▼續いて五月には

### 學徒武道試合要綱

の制定發表となつた、即ち柔道は攻撃を主眼、剣道は一本勝負として共に戸外試合を奨励し總て實戦即應の練成方法に改められた、但し當然の歸結といふべきである▼更に五月十九日から三日間厚生省大會議室において國民體操主務課長並に主務事務官打合會が開催され一般號後國民に対する本年度

**健民強兵施策** の全貌が明示された、即ち皇國民鍛成の目標は忠孝義烈志操の醸養と體質剛健なる士的生括の醇風助長と共に無敵海軍魂録成に最適の競技として大に推進され名稱も「開球」工政稱學童、中等學徒、大學專學徒とそれぐの接觸に應じて競技規則を變へて實施せしめることとなつた、その他の競技もこれに随ひ漸次競技内容なり、用

検定の實施と、およびこれが目的達成のため各種行事の統制が行はれた、即ち武道は編成するものは、日本武德會、學徒に編成するものは、大日本學徒體育振興會、その他に編成するものは大日本體育會に依つてそれく統制されることとなり、なほ六月大日本體育會では大東亞戰争を勝ち抜く國民體力の増強を口として「國民體育指導員検定

語なりを日本の如く改め決戦下學徒の戦力増強に役立つ競技として新設を遂げつゝあるの現状にある▼續いて五月には

**學徒武道試合要綱**

の制定發表となつた、即ち柔道は攻撃を主眼、剣道は一本勝負として共に戸外試合を奨励し總て實戦即應の練成方法に改められた、但し當然の歸結といふべきである▼更に五月十九日から三日間厚生省大會議室において國民體操主務課長並に主務事務官打合會が開催され一般號後國民に対する本年度

**健民強兵施策** の全貌が明示された、即ち皇國民鍛成の目標は忠孝義烈志操の醸養と體質剛健なる士的生括の醇風助長と共に無敵海軍魂録成に最適の競技として大に推進され名稱も「開球」工政稱學童、中等學徒、大學專學徒とそれぐの接觸に應じて競技規則を變へて實施せしめることとなつた、その他の競技もこれに随ひ漸次競技内容なり、用

検定の實施と、およびこれが目的達成のため各種行事の統制が行はれた、即ち武道は編成するものは、日本武德會、學徒に編成するものは、大日本學徒體育振興會、その他に編成するものは大日本體育會に依つてそれく統制されることとなり、この國策編に沿つて岡山縣體育會大日本體育會岡山縣支部、大日本體育會岡山縣文部をそれく設立し百三十万縣民への健民強兵施策を實施し諸々國家の要請に應へつゝあるのである

### 合同新聞社體育獎勵賞

大日本武德會教士

大東亞戰爭完遂に國民體力の増強が愈よ東大性を加へつゝあるとき本社では既に制定した體育運動規定による第六回優勝者を経過委員會で鑑定の結果次の功勞者、優秀選士、優秀國體と決定、戰捷に雄く慶記、壬午年三百年の紀元の佳節をして發表、それく、錦狀並に紀念大賞牌を贈呈した

### 劍道功勞者

森末甫寔氏

劍道功勞者として表彰された森末甫寔氏は岡山縣赤穂郡に在籍する人、世々武道をもつて鳴る家門に生れ先代虎太郎氏について幼少の頃から神道無念流を修めざらに岡山市上之町西郷守衛氏の門に入つて直心影流の奥義に達す。先代虎太郎氏は明治・大正兩時代一度の御前試合に選ばれて出場する

市六番町研武館教師として後進の指導、子弟の養成に献身的努力を傾倒し大日本武德會本部より教士號をおくられ、かつ岡山支部常議員教授に任せられ今日に及んでゐる、氏の門下からは縣内における足久津商業、富永倉敷商業、

ろ極めて大である。而ま氏は性高潔にして現今稀な古武士の如き風格を眞へ縣下剣道界隨一の人格者として全國に其の名を知られてゐる、なほ令弟弘基氏は剣道騎士として廣島文運大、岡附屬高師に奉職、長勇慶久氏は現研武館主・世

の光榮に沿したほどどの縣下切つての達人、明治以來稍衰微に傾きかけた岡山縣下の興隆を目指して岡山市七番町に研武館道場を設けて地方青年子弟に剣道を指南明治四十年岡山武德殿建設の議起るや率先委員となつて獻身爾來同支部の發展に努力する一方研武館支部を美作・金浦の二ヶ所に設けた剣道の隆昌に努めたる縣下武道界の元勳者であるがこの間先代をしてこの事業を成さしめたる陰には與つて氏の力勝大なるものがある、即ち氏は昭和二十五歳にして郷里仁風村長をつとめ、赤堀郡首領書記の多忙な職務にありながらも先代を扶けて仁風岡山市に奔走、自宅開設の森末道場主として或は岡山研武館教師としてさらにまた武德會岡山支部道場へと多數子弟の養成に努力以つて剣道を通じて地方青少年の啓蒙に盡瘁したる功績は大きく、其の後星島銀行岡山支店長に就任するや居を岡山市に移し爾來七十五歳の今まで實に四十有余年間現岡山

小野田閑谷中學、小野吉備路美谷教士などをはじめ縣内外に多數有爲の人材を輩出、氏の門下生或はその流れを汲む者は岡山縣下に万をもつて數へ現在縣下剣道界の隆昌は氏の先代および氏に負ふとこ

登録本社 岡山縣和氣郡山田村（電話佐伯一三番）  
社長 山内金一郎  
支店 東京都日本橋室町三丁目  
支店 大阪市北區末廣町  
體操優秀選士  
岡崎文子娘

第十三回明治神宮國民鍛成大會體操競技、般女子、個人に優勝の榮冠を戴いた岡山縣足久高女體育科岡崎文子娘はその技の優秀なるのみならず學業成績も亦優れ、かつ性温厚篤實にして誠に知行一如の模範生である、同娘が體操競技を始めたのは三年生（十五歳）の春からで其の當時は余り機動にも恥まれず技も不十分で今日の大成な到底想像も及ばなかつた處であるが、同娘の燃ゆるが如き國志と弛まざる猛鍛成は同校小坂教諭の指導宣しきと、さらに現校同校研究科在學中の若林房子娘、入江晶子娘両先輩の熱心なる研究的指導と相俟つてメキメキと上達し一年後の第十四回神宮大會には若林娘第一回、入江娘第五位に次いで第七位に入賞一躍々體操の足久高女の名を全國に轟ける、の因を作り岡山縣體育界のためにも万丈の氣を吐いたのであるが、これに盡りとなくますく自重猛練習を積んでさうに一段と自覺しき進境を遂げ體操も伸びて翌昭和十六

體育鍛成

年縣下女子中等大會には若林、入江両先輩を凌いで第一位を獲得その年秋第十二回神宮大會には郷土の輿望を一身に擔つて必死敢闘し

同嬢のこの榮智は眞に血と汗と涙の苦闘史に結ばれた尊い鍊成の成果である

體育優秀圖錄

しかも優勝を逸し第三位入賞、高松總裁宮殿下台覽模範演技に選ばれて出場の光榮に浴して大いに感激、次大會こそは是が非でもと雪辱の念に燃え沸りさうに一年間を實に雨といはず、風といはず日曜祭日も休みなく炎熱酷寒下の血の出る様な猛鍊成に小坂教諭以下全員が一丸となり死力を盡して敢闘全技火の玉となつて闘つた。三度目に迎へた第十三回神宮國民鍊成大會の晴れの檜舞台で再び宿敵旅順高女と顔を合せ全國の精銳らと錆を削つて技を競ひ満場息詰まる昂奮のうちに遂に榮ある全國優勝の榮冠は岡崎嬢の頭上に輝と輝き續いて入江嬢第二位、若林嬢第四位と岡山軍壓倒的大勝利を占め茲に雌伏三年の苦節漸く酬いられ功成り名遂げたのである、想へば

體育優秀興體として、山縣下第一の選に入つた津山商業學校は、  
實剛健なる氣魄と強壯頑健なる身體を以て教育全野の格幹となし、智  
育德實の相涵養と俟つて果敢なる實行力を有する至誠奉公の皇國民  
を鍊成するの教育方針の下に大正九年三月創立以來、學校的體育の  
精勵に一貫し以て現在に至つてゐるが、昭和十五年七月現校長山本  
茂氏の着任以來この教育方針はさら  
に一層強化徹底された。氏は坂  
出、玉島両商業學校長を経て同校へ榮轉したものであるが、前記兩  
校が體育優秀校として全國にその名を知られたるも實に氏に負ふと  
ころ極めて大であり、氏の指導方  
針たるや常に陣頭指揮に徹し毎日

朝會時の全校體操も四月から十一  
月までは全職員生徒が裸足、裸體  
を實行してゐるが氏は率先身を以  
て範を垂れ、また毎日放課後實施  
の全體駆足にも自ら参加して全員  
を激勵するなどの挺身指りである  
この全校駆足は六百名職員生徒全  
員を各走力によつて第一班五千メ  
ートルから第四班千米までの四段階に分  
ち走力の強力を圖ると共に團體訓  
練、頑健なる心身鍛成に大きな成  
果を擧げつゝあり、この鍛成に伴  
つて多數優秀長距離選士が養成さ  
れ縣體協主催の驛傳競走には前年  
本年と連續優勝を遂げたほか縣内  
近縣大會にも優秀の成績を收めて  
ゐる、このこほか學校的に實施の  
ものは山林開拓、農場經營をはじめ  
身體検査、檢便、齶齒治痛など  
の體育衛生は毎月一回必ずこれを

実施、毎年夏季には全校皆泳目として水泳を指導、冬季にはスキー講習を行ひ、グライダー訓練、銃剣道は正科として実施する等全校を擧げて體力増強に敢闘し何れも優秀の成績を擧げてゐる、さらには競技部面においても剣道、弓道、水泳、送球、陸上の各競技は傳統的強味を有して縣内外各大會に輝かしき戰果を擧げ連年神宮大會へ多數優秀選士を派遣してゐるが、中でも第十三回神宮大會出場の剣道奥村選士は不收の戰績を收め、かつ技の優秀と試合態度の立派な点中等選士中の隨一として審判官から大いに激賞された、以上の如く挺身實行の人山本校長の陣頭指揮下に全校が一丸となつて體力奉公に邁進の學校的體育模範校である

合同新聞社主催  
西日本體育大會成績

紀元二千六百年記念事業の一つとして本社が主催して來た西日本體

泳、體操、各種球技、その他各般の體育訓練種目に亘つて決戦下國民の剛健なる體力と旺盛なる精神力の鍛成に寄與し毎年西日本の全域に遍しき健民強兵の運動を展開したのだが、昭和十八年度に入るや政府は日に日に悽愾苛烈の度を加へつゝある敵米英との決戦、血戦の血戦の深刻なる様相に鑑み國内體育運動の上にも大いなる改革を断行、即ち決戦下における統一の體育運動は政府においてこれを

統制し、これが運営方法についても從來の構構を一新し大日本體育會、大日本學徒體育振興會及び大日本武德會を以て一切を統合、かつ直接指導に當らしめるとなつた、依つて本社においてはこの政府の指針に率先協力するため進んで歴史に輝く西日本體育大會に終止符を打ち、所謂發展的解消をなすと共に此の旨六月一日付社告を以て發表した次第である、なほ十七年九月から同年末までに舉行の

各種競技の成績は左の如くである

陸續合競技  
二三二四

十七年十月十一日

岡山市奥市運動場

學年大總括

井上、河原) 2. 四大寺青校(備前)  
前、小野田、川野、武本、巖壽  
藤谷) 3. 姉尾明青校(備中) 小  
錢、林、佐藤、林壽、東山) 4.  
國分寺青校(美作) 5. 尾久土蘿青  
校(備前) ▲ 土蘿連競走、1妹  
尾明青校(備中) 深越、清水、  
高橋、麻井、矢吹) 2. 四大寺青  
校(備前) 山口、國木、藤本  
米田、無岐) 3. 久米格致青校  
(美作) 岩野、安峰、山本、數本  
三船) 4. 尾久土蘿學校(備前) 5.  
國分寺青校(美作) ▲ 障碍通路競  
走、1. 尾久土蘿青校(備前) 梶  
原、長尾、礪葉、西坂、末石)  
2. 姉尾明青校(備中) 小寺、小  
野、松田、小野、中村) 3. 久米  
格致(美作) 日等、神谷、田本  
岡西、岡田) 4. 國分寺青校(同)  
5. 四大寺青校(備前)

【總得點】 1. 備前 23, 2. 美作 22,  
3. 備中 15

【ラグビー】  
吉田山田 西上野透 橋木  
吉武高吉 辻 小水尖田 (高赤)  
中學 田野島原藤谷守木 山納  
關西 石大唯藤原高關須奥加  
中學 田野島原藤谷守木 山納  
吉武高吉 辻 小水尖田 (高赤)  
FW HB  
GK FB HB FW  
F 得點 ○

中學 岩田永館 郡 6  
木野瀬宅 岩 20 6  
赤字中三 吉 6  
TB F T G 得點  
水 2 1 11

【送球】  
高女 津山高女 居山木門根谷田島田田 田  
士庄佐龍山三穂福須太 藤  
瀧倉中宅田本口透宅 本  
大土田三中岡原野渡三 山  
倉 得點 2

【ア式蹴球】  
高女 津山高女 居山木門根谷田島田田 田  
士庄佐龍山三穂福須太 藤  
瀧倉中宅田本口透宅 本  
大土田三中岡原野渡三 山  
倉 得點 2

【ラグビー】  
吉田山田 西上野透 橋木  
吉武高吉 辻 小水尖田 (高赤)  
中學 田野島原藤谷守木 山納  
關西 石大唯藤原高關須奥加  
中學 田野島原藤谷守木 山納  
吉武高吉 辻 小水尖田 (高赤)  
FW HB  
GK FB HB FW  
F 得點 ○

【ラグビー】  
吉田山田 西上野透 橋木  
吉武高吉 辻 小水尖田 (高赤)  
中學 田野島原藤谷守木 山納  
關西 石大唯藤原高關須奥加  
中學 田野島原藤谷守木 山納  
吉武高吉 辻 小水尖田 (高赤)  
FW HB  
GK FB HB FW  
F 得點 ○

山(同上) 5. 小賀(美作)、福渡) 6.  
馬場(備前)、牛窓) ▲ 八十米障礙  
1. 刘出(備中)、倉敷) 14 秒、2. 小  
高(備前)、和氣) 3. 竹内(美作)、  
津山) 4. 游手(備中)、倉敷) 5. 小  
賀(美作)、福渡) 6. 佐藤(備前)、  
倉敷) ▲ 走巾跳、1. 伸原(備  
前)、和氣) 4. 米 75, 2. 右坂(美  
作)、津山) 3. 岡(備中)、倉敷) 4.  
佐山(美作)、津山) 5. 岸田(備  
中)、倉敷) 6. 清水(備前)、西大  
寺) ▲ 短棒投、1. 岡本(備中)、  
西大寺) 3. 片山(美作)、津山) 4.  
藤森(備前)、牛窓) 5. 田中(備  
中)、倉敷) 6. 清水(美作)、津山)  
3. 美作 37

## 岡山古武道

### 各流型大會

## 專會社法門

總切指導 元法人係 種類  
稅務代理人 烏 越 麗 正

東山會館

△ 日置雷流弓術卷藝禮射日杉原金  
久(岡山) △ 揚心流柔術望日向野  
櫛次郎(兒島) 岡田代四郎(同) 中  
塚友太郎(同) △ 天眞正傳查取神  
道流居合太刀、棒、薙刀、槍術  
型日杉野彌男(神奈川縣) 德田俱  
満小田 △ 風影流棒術望日山本

中義(兒島) 中村好吉(同) △ 劍道  
模範試合日小東春雄(津山) 對小  
玉正造(岡山) 尾上委(岡山) 對  
光畠辰吉(御津) △ 天道流薙刀術  
型日山野弘子(津山) 渡邊照子、守  
屋(岡山) △ 鹿島神傳直心影流劍術  
法定類日井上壁太郎(岡山) △ 楽

百里ノ型日石井市十都達平林  
與三郎(兒島) 藤原輝近(同) 妹尾  
光夫(長谷川英心流居合術) 日  
櫛本正武(岡山) △ 今夜新流杖術  
型日可兒喜吉(岡山) 可兒喜子  
(同) 谷慶清司(同) △ 養心流棒術  
型日水瀬恵吉(都達) 藤江榮一  
(同) 内田望吉(同) △ 武藏流劍術  
二万流望日奥村寅吉(岡山) 衣笠  
隆(岡山) △ 劍道對薙刀道模範試

道標範試合日大伏光義(下野) 對  
西崎良夫(岡山) · 清手宗夫(倉  
敷) 對新海鑑(淺口) ▲ 起倒流柔  
術型日金井彌一兵衛(岡山) 山上  
岩二(岡山) △ 日本古武道振興會  
松木理事長の講演△ 竹内興形流  
棒術型日橋勝一(兒島) 橋植太郎  
(同) △ 理方一流劍術型日大山十  
三郎(津山) △ 起倒流柔術表ノ型

合日劍小正透(岡山) 雄刀大島  
基義子(岡山) △ 試斬り千頭直之  
(岡山) △ 白雲流劍術型日岡山縣  
顧客學校生徒

卓 球 同年十一月  
清輝國民學校講堂

男子部 都市對抗戰

【第一回】 (神戸) 巨人 31  
岡山第三 山本 3-10 木村、中  
川正十 3-3 丸川、山本、西村 3  
-10 上原、熊谷、澤田 3-10 長  
尾、安福 3-10 香川 (大阪第一  
三、○) 岩山第二 佐藤 3-10 熊  
谷、奥田 3-10 丸川、奥田、眞  
島、上原 3-10 香川、山本、西  
村 3-10 桑原、石井 (岡山第二  
三、○) 高松重協 丸川 3-10 石  
井、上原 3-10 東原、丸川、長  
瀬 3-11 妹尾、桑原

【第二回】 (神戸) 巨人 31  
岡山第三 山本 3-10 木村、中  
川正十 3-3 丸川、山本、西村 3  
-10 上原、熊谷、澤田 3-10 長  
尾、安福 3-10 香川 (大阪第一  
三、○) 岩山第二 佐藤 3-10 熊  
谷、奥田 3-10 丸川、奥田、眞  
島、上原 3-10 香川、山本、西  
村 3-10 桑原、石井 (岡山第二  
三、○) 高松重協 丸川 3-10 石  
井、上原 3-10 東原、丸川、長  
瀬 3-11 妹尾、桑原

【第三回】 (神戸) 巨人 31  
岡山第三 山本 3-10 木村、中  
川正十 3-3 丸川、山本、西村 3  
-10 上原、熊谷、澤田 3-10 長  
尾、安福 3-10 香川 (大阪第一  
三、○) 高松重協 丸川 3-10 石  
井、上原 3-10 東原、丸川、長  
瀬 3-11 妹尾、桑原

【第四回】 (神戸) 巨人 31  
岡山第三 山本 3-10 木村、中  
川正十 3-3 丸川、山本、西村 3  
-10 上原、熊谷、澤田 3-10 長  
尾、安福 3-10 香川 (大阪第一  
三、○) 高松重協 丸川 3-10 石  
井、上原 3-10 東原、丸川、長  
瀬 3-11 妹尾、桑原

體育鍊成

勝)敗、2神戸巨人二勝一敗、

3岡山第一勝二敗4高松卓協

三敗

【第二コート】(吳皇協二〇大阪

第二二本3-10井上、藤岡3

1-2有井、數根、二本3-11池

見、中野岡山第一三一大阪第

二)佐々田0-13池兒、井上3

1-0宮川、坂本、三宅3-11有

井、池尾坂本3-10中野)吳卓

協二)岡山第一二本3-10

佐々田(大阪第一三一〇神戸

巨人)奥田3-11山本、下條3

1-2中川、奥田、佐藤3-12山

本、西村

【第三コート競技】(神戸巨人三十

○敗、2岡山第一勝二敗、3

大阪第三敗

1坂本、三宅中川3-12佐藤

優勝誠】大阪第一三一〇吳卓協

五九八

翁、稻田3-10倉田、松島3

1-0桑田、西川3-12藏田、平

井3-2名川、小川3-10鶴尾

袖木3-12菊地、四回戦、小谷

3-1山根、稻田3-12松島、

西川3-1平井、袖木3-12小

谷、稻田3-10倉田、松島3

1-0金光(山陽)川東朝(明

善)2-10大月(倉女)三好(岡

女)2-10山路(明善)高橋(廣

市)2-10瀬良(福女)菊地(廣

市)2-10東悅(明善)八幡(津

山)2-10三井(山中)竹安(坂

出)2-0山本(笠岡)▼二回戦

山根(廣市)3-10瀬尾(福山)出

石(味野)3-10清水(倉女)小谷

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(電話局)田淵

(福女)2-11守屋(電話局)田淵

(廣市)2-10楨松(明善)清水

(倉女)2-10吉川(福女)栗原

(福女)2-11守屋(電話局)田淵

(廣市)2-10楨松(明善)子川

(坂出)2-10高橋(福女)梶(山

陽)2-10三野(明善)佐藤(笠

岡)2-11川淵(坂出)松島(廣

市)2-10谷田(味野)桑田(福

文)2-10妹尾(矢掛)守屋(矢

掛)2-10八木(明善)四川(吳

山)2-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

(津山)3-10子川(坂出)稻田

(坂出)3-10栗原(福山)長谷川

(坂出)3-10守屋(矢掛)西川(吳

(工廠)3-10松井(廣市)名川(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10八幡(廣市)柚木(山

陽)3-10竹安(坂出)▼三回戦

山根)3-11出石、小谷)3-11長

山)3-10三好(國女)菊地(廣

市)3-11藤井(福山)平井(坂

出)3-10川東朝(明善)小川(福

市)3-10佐藤(等岡)桑田(福

山)3-12平尾(明善)藏田(山

</







【女子の部】△准決勝

一般男子部 1 倉敷商(高杉、岡)

本(等岡)▼准決勝・石井・石合

四  
五

本<sup>等岡</sup>▼准決勝・石井・石合  
2-1-0 梶・物部・福尾・妹尾2  
1-1 山本・佐藤▼優勝戦・福尾・  
妹尾2-1-1 石井・石合

縣體第十四回 昭和十八年六月  
十一・青羅袋

岩見(愛媛)4	今井(愛媛)4
中(岡山)4	青山(岡山)3
田鹽見(岡山)4	宮地(愛媛)
中(岡山)4	日方(愛媛)

1分11秒30、2日比翼鹽（橋本  
要、橋本三）1分11秒16、3高月  
B 1分17秒02、6倉絹A、7六  
高C、8同F、9倉絹C、10三  
幡日發

縣體第十四回（昭和十八年六月）  
十日、清輝校

210 楓・物語・福尾・妹尾2  
1-1 山本・佐藤▼優勝戦・福尾  
妹尾2-1 石井・石合

岩見(愛媛)4—1  
今井(岡山)  
田中(岡山)

男子中等部 1 津山商(織田・香  
西)1分11秒50、2 吉備商B(行

(尚球)2-1-0 植野(尚球)佐々田  
(尚球)2-1-0 柴岡(白十字)佐藤

全國綜合選手權（昭和十七年十月）

驛傳競走

縣體（昭和十七年十一月二十二日  
笠岡一岡山五〇糀）  
1津山商3時間1分23秒。2高  
梁商、3倉敷商、4吉備商、5  
玉島商  
縣體、吉備津神社參拜（昭和十八  
年二月十一日、縣廳—吉備津神  
社往復）

高見、高田、中村、中林、分1種3  
4 師範1分15秒11、5 高梁商1  
分15秒35、6 金光中A、7 天城  
中A、8 倉敷商9 金光中B、10  
倉敷市商番外女子部、1 倉敷市  
商番外女子部、1 倉敷高女B  
(萩原鶴川、安田、西田)1分31  
秒26、2 同A、3 同C

出石	2-1	佐藤
石井	2-1	佐藤
前野	2-1	佐藤
松原	2-1	佐藤
米	2-1	佐藤
笠	2-1	佐藤
福	2-1	佐藤
小川	2-1	佐藤
岡	2-1	佐藤
西原	2-1	佐藤
味野	2-1	佐藤
山陽	2-1	佐藤
物部	2-1	佐藤
味野	2-1	佐藤
梶	2-1	佐藤
竹内	2-1	佐藤
津山	2-1	佐藤
山本	2-1	佐藤
佐藤	2-1	佐藤
戸	2-1	佐藤

1三勳、男附4-1弘西▼優勝  
戦II男附3-2出石  
學童初女(参加十一校) ▼二回  
戦II南方3-1内山下、旭東4  
-1清輝、出石1-0三勳、伊  
島2-0弘西▼准決勝II南方2  
-1旭東、出石3-1伊島▼優  
勝戦II南方2-0出石

【學童高女】 ▼一回戦 11三動 8-1  
・0深底、南方1不戦勝 ▶優勝戦  
11三動 2-1 0 南方

【男子中等】(參加九校) ▼二回戦  
11矢中 10-1 1等商、吉備商 2-1  
0金光中、津山商 3-1 0 金光中  
岡師 2-1 0 勝山中 ▶准決勝 11矢  
中 3-1 1 吉備商、岡師 3-1 2 矢  
中

【女子中等】(參加四校) 一回戦 11  
倉敷女 6-1 2 1 女、津山 9-1 0

西大寺▼優勝軍川倉町2-2津  
山(引分)  
縣體第一回低學年備中地區 女中  
昭和十八年一月二十四日、倉  
敷高女 1倉敷高女、2矢掛高  
女、3總社高女  
同男中(同年一月二十四日、1倉  
敷工業、2金光中學)  
籠 球

【商、山陽】	●一回戦 II 關中 41
14 西大寺 中、二中 10 — 6 岡工	
一中 11 — 8 吉備商、一商 25 — 5	
金川 中 ▶ 準決勝 II 關中 24 — 10 二	
中、一商 58 — 4 一中 ▶ 優勝戦 II	
一商 32 — 18 關中	
【同女子部】 ▶ 一回戦 II 倉敷 12 —	
2 岡久、就實 28 — 17 西大寺、笠	
岡 8 — 0 一女 ▶ 準決勝 II 山陽 31	
— 6 倉敷、就實 30 — 8 等岡 ▶ 優	

勝戰 1 山陽 2 1 贏負  
同儕中地區(同年同月、倉敷工業)  
1 倉商・2 金光中・3 倉敷工  
第九回 蔊西少女大會(同年二月七  
日、兵庫一女)▼第一回 戰・茨  
木高女 72-51 山陽高女  
三日、男助)

龍球

# 信 用 告 婚

明治二十五年創業  
調查専門商業  
岡山電説

業興信所  
岡山市西中 山下五七一  
番

六〇七







體育鍛成

六四

體育鍛成

六一六



高級耐火煉瓦製造  
岡山縣和氣郡三石町  
同電話三石局六一一番

火 煉 瓦 株 式 會 社  
太 田 太 郎  
岡山縣兒島郡胸上村 電話山田局三三番  
分工場長  
社 分工場  
話三夜三間三番  
石局六一一番

體育練成

六一七

體育 錄 成

三好六合俱樂部

(和氣郡三石町) 倉敷市役所 (倉敷市旭町)

倉敷郵便局 (等岡區裁判所) (小田郷高島町)

岡山鐵道 (岡山市下石井管理部) 日空本山鐵山 (川上郡吹屋町坂本)

片倉製絲江見工場 (上道郡高島村) 藤德商店 (倉敷市新川町)

林業試驗場高島試驗場 (倉敷市新川町)

岡山法曹俱樂部 (英田町江見町) 成羽砂防事務所 (川上郡成羽町下原)

岡山法曹俱樂部 (岡山市弓之町) 倉敷文友會 (倉敷市元町三宅泰助系付)

中寶俱樂部 (和氣郡本庄村森木敷四氣付) 和氣郡足尾銅礦聯合事務所 (和氣郡和氣町小原創一氣付)

中國銀行井原本支店 (後月郡井原町) 尾崎商事會社 (兒島郡舞浦町) 海員養成所 (完馬郡味野町)

明治生産岡山支店 (岡山市下之町) 奥義塾國圖 (西山市弓之町農地開) 岡山卓球協會 (岡山市清輝國民學校内)

山陽高女クラブ (山陽女學校内) 岡山卓球協會 (岡山市天瀬本町一四)

山陽高女俱樂部 (山陽高女内) 岡山卓球協會 (岡山市清輝國民學校内)

山高女俱樂部 (山陽高女内) 岡山卓球協會 (岡山市天瀬本町一四)

倉敷市神傳游泳會 (倉敷市元町三宅泰助系付)

大高乘馬會 (倉敷市川西町江九造三氣付)

兒島御傳流同志會 (完馬郡味野町野崎勝彌氣付)

高松神傳流同志會 (吉備郡高松町三堀環氣付)

大阪築業會社 (和氣郡日生町)

石油販賣社 (岡山上四川)

岡山貯金支局 (岡山市下之町)

鐘紡岡山工場 (岡山市花畠二〇)

鐘紡織前工場 (岡山市下石井)

倉敷市神傳游泳會 (倉敷市元町三宅泰助系付)

スキー・スケート・山岳 (岡山スキー山岳俱樂部 (OSM))

C (岡山市下之町竹波運動員店內)

倉敷スキー山岳俱樂部 (倉敷市元町ミキヤ運動員店內)

大高乘馬會 (倉敷市川西町江九造三氣付)

兒島御傳流同志會 (完馬郡味野町野崎勝彌氣付)

高松神傳流同志會 (吉備郡高松町三堀環氣付)

大阪築業會社 (和氣郡日生町)

石油販賣社 (岡山上四川)

岡山貯金支局 (岡山市下之町)

鐘紡岡山工場 (岡山市花畠二〇)

鐘紡織前工場 (岡山市下石井)

倉敷市神傳游泳會 (倉敷市元町三宅泰助系付)

スキー・スケート・山岳 (岡山スキー山岳俱樂部 (OSM))

C (岡山市下之町竹波運動員店內)

倉敷スキー山岳俱樂部 (倉敷市元町ミキヤ運動員店內)

大高乘馬會 (倉敷市川西町江九造三氣付)

兒島御傳流同志會 (完馬郡味野町野崎勝彌氣付)

高松神傳流同志會 (吉備郡高松町三堀環氣付)

大阪築業會社 (和氣郡日生町)

石油販賣社 (岡山上四川)

岡山貯金支局 (岡山市下之町)

鐘紡岡山工場 (岡山市花畠二〇)

鐘紡織前工場 (岡山市下石井)

倉敷市神傳游泳會 (倉敷市元町三宅泰助系付)

スキー・スケート・山岳 (岡山スキー山岳俱樂部 (OSM))

C (岡山市下之町)

六一八

(上道郡西大寺町伊原住太尉村)

倉敷オリムピヤ俱樂部 (倉敷市元町ミキヤ運動員店內)

倉編岡山工場 (岡山市海岸通二丁目)

大鵬俱樂部 (第六高等學校内)

ツバクロ俱樂部 (三井造船所内)

倉編岡山工場水泳部 (西村伊勢松氣付)

大鵬俱樂部 (岡山市東中山下九三)

倉編岡山工場水泳部 (倉敷市外酒造)

高松流津山游泳會 (吉備郡高松町片山一氣付)

西大寺游泳研究會 (西大寺第一國民校内)

倉編岡山工場水泳部 (西大寺第一國民校内)

高松流同志會 (吉備郡高松町片山一氣付)

西大寺ヤンダ俱樂部 (西大寺第一國民校内)

倉編岡山工場水泳部 (西大寺第一國民校内)

高松流同志會 (吉備郡高松町片山一氣付)

西大寺游泳研究會 (西大寺第一國民校内)

倉編岡山工場水泳部 (西大寺第一國民校内)

高松流同志會 (吉備郡高松町片山一氣付)

西大寺ヤンダ俱樂部 (西大寺第一國民校内)

倉編岡山工場水泳部 (西大寺第一國民校内)

## 岡山西警察署

## 岡山労働團

## 玉井機械工場

## 食糧倉庫工場

## 武徳館空手道支所

## 海防義理所

## 岡山西警察署

## 岡山労働團

## 玉井機械工場

## 食糧倉庫工場

## 武徳館空手道支所

## 海防義理所

馬道

岡山歩く會

雜

## 岡山正射會(岡山市弓之町)

## 津山射撃會

## 弓道大正殿(津山)

## 津山柔道會

## 玉響造船所

## 岡山軌道會社

## 倉敷體育協會

## 岡山操弓會

## 日比川射撃會

## 岡山建大

## 三國競走

## 中國配電

## 倉敷高女房友善

## 文化藝術能

## 大原農業研究所

大原農業研究所は明治四十年創立  
【倉敷市住吉町】

電 倉敷 三五

▼鳥城泰輔俱樂部(岡山市小畠町)

日本古武道振興會に呼應して岡山

縣を單位とする各流古武道の宣揚

並に普及を目的として昭和十六年

九月二十九日合同新聞社講堂で發

會式を舉げ十一月一日岡山市東

山角新設武道場で護國神社奉納

第二回古武道選手大會を開いた

【事務所】岡山市高新聞社内

東洋體育研究所(岡山市内山下  
朴幸稿)【蓄書】(一)古武道各流派に關する  
調査研究(二)古武道各流派武

術の練習及普及(三)各流派武

術の練習及普及(四)各流派武

術の練習及普及(五)各流派武

術の練習及普及(六)各流派武

術の練習及普及(七)各流派武

術の練習及普及(八)各流派武

の他必要なりと認むる事項



## 文化藝術

の四つを擧げてゐる、會員は普通

特別、名譽の三つに區別され、會員の會費は年額一円である。

【役員】會長松本學△副會長橋本

眞三郎、牧野融△幹事會岸知空

岡長平、渡邊賀母、河本一夫、

小林久磨雄、豊田松、吉岡三平

桂又三郎、大旗立治、藤井慶

(會員)百四十名

### 岡山縣哲學會

【事務所】岡山縣神祇教學課内

【目的事業】國體の本義に立脚し

和漢先哲の學を主として廣く東洋の

文化を究明し以て國民性の涵養に

資し國民的自覺を促すを以て目的

とし、皇朝漢籍の講演會講演會

研究會の開催會誌圖書の刊行國典

漢籍の蒐集等を主なる事業として

現在會員約千人百名

【役員】總理岡山縣知事橋本清吉

會長岡山縣内政部長丸岡慶吉、

副會長山田三義、原澄治

### 岡山博物學會

【事務所】第六高等學校生物學校

之助(岡山)時實鈴水、沼木嘉太

郎、早川支那、佐々木元一、

西天寺支那、大庭太郎、邑

久支那、幹事長瀬義、大阪支那

事尾崎雅夫、高屋支那、伊藤田三

六四

口久吉、高見義夫、玉井伊三郎

藏知知、安田敏太、松島定一、

亞戰爭樂戰記、御賀會△岡山史

蹟巡り、吉備津神社、圓福寺の卷

△列士岡元太郎追悼會△並行發行

如空

郎

松田幸一郎、小林久磨雄、宮岸

正

事

【目的】日本精神を國明し國民的知能の發達及び文化を昌揚する目的をもつて昭和十五年四月創立されたもので、事業として(一)講演會習座談會の開催(二)會誌の刊行(三)先哲勵土の顯揚(四)未刊書の翻刻(五)岡山圖書館の圖書叢書等を行ふ

【事務所】岡山市小堀町、西山圖書館(電六〇四)

【事務局】岡山市小堀町、西山圖書館(電六〇四)

【目的】日本精神を國明し國民的知能の發達及び文化を昌揚する目的をもつて昭和十五年四月創立されたもので、事業として(一)講演會習座談會の開催(二)會誌の刊行(三)先哲勵土の顯揚(四)未刊書の翻刻(五)岡山圖書館の圖書叢書等を行ふ

【事務局】倉敷市役所内、電二

【創立】昭和十六年四月

六五

なつた

惟神道實踐會

【事務所】岡山市門田五九〇、沼

本清方

【役員】會長住田陽(世話人)沼本

清、日笠賀太

【事務所】岡山市花畠一九四、浦

上宗衛方氏

地理學の研究を行ふもので毎月一

回地理談話會を開き會員の研究發

表又は講師を聘して講演會を開き

時々會社、工場、商店其他野外の

實地見學をなし講師より専門的講

話を聞く

本會は教育者、實業家其他地理學

に趣味を有し又は地理學を研究せ

んとする人々の會合であるが何れ何

人でも入會を歓迎してゐる。會費

は一ヶ年一円である

【幹事】浦上宗衛、坂上長十郎、

仲原龍次郎(會員)六十五名

【事務所】川上郡轄合國民學校福

地校舎

【事務】川上郡轄合國民學校に產す

る地質學上有名なる化石を保存す

るため保存會を設け保存會の承認

を経て入山採取することが出来る

近時學界はもとより各方面より研

究賽に現地視察並採取の結果者

多く本化石の學界に貢献せること

がからず

佐藤清明

【事務所】岡山市内山下一〇、佐

藤清明氏方

【役員】(會長)井村進(副會長)松

下賀次郎、信原修一(幹事)平

松齋男

【事務所】岡山市内山下一〇、佐

藤清明氏方

【役員】(會長)井村進(副會長)松

下賀次郎、信原修一(幹事)平

松齋男

【事務所】岡山市内山下一〇、佐

藤清明氏方

【役員】(會長)井村進(副會長)松

下賀次郎、信原修一(幹事)平

松齋男

【事務所】岡山市内山下一〇、佐

藤清明氏方

【

## 吉備文書研究會

【事務所】岡山市上伊福三三三、吉岡三平氏方

郷土關係圖書を書誌學上より研究する目的で機關誌發行、研究會開催等の研究に努めてゐる。

【役員】(顧問)正宗教大、國富次郎、河本立五郎、藏知矩(理事)小林久磨雄、岡長平、河本一夫、吉岡三平(常任)

## 津高郷々土研究會

【事務所】御津郡横井國民學校内津高郷々土の研究を目的として實地の調査及研究會の開催、調査研究發表並調査書の作製等をなす。

【役員】中川満雄、河本一夫、青井芳太郎、富山田鶴雄、大森毅、西崎隼太、西崎健太、三宅前太郎

【十七年度事業】吹法樂第三、四卷及第六卷の發行、横井村誌第十輯之中第五、六輯、教育、宗教第五回史蹟第七輯水利第八輯人物を發行實地調査五回、研究會毎月一

## 回開催

## ラジオ

岡山放送局ラジオ相談所

岡山市内山下相生町三〇一、△取扱人△組員一五三名

合長安田坂△副組合長矢吹常太郎△備前支部長安田坂△備中支

放送開始 昭和六年二月一日

放送係長 森川 寛秀

放送係員 高島 定一

技術係長 岡山放送局

赤坂ノ上 電二九二五

総務係長 大羽 雄

津島 定一

岡山放送局

岡山市経済(電八〇八〇)

岡山市富

田中德機電機商會、大供新興ラジオ電機商會、紙屋町花房電機店、

小橋町放電社ラジオ部、西大寺町鹽見ラジオ店、植屋町仁科ラジオ

店、下石井菅井ラジオ製作所、岩田町松森ラジオ電機商會、鹽屋町アカツキ無線電機製作所、野田屋町平松電機店、内山下佐藤電機店、

上伊福石川ラジオ電機商會、上之角田ラジオ電氣店、六番町

古都村立花ラジオ店、完島郡味野町山崎屋ラジオ店△都窪郡妹尾町木古ラジオ店△浅口郡長尾町長尾ラジオ店、玉島町池上ラジオ電機商會、赤澤ラジオ店△小田郡等岡町クマダラジオ店、サキガケ營業所・アサヒラジオ商會、矢掛町中西ラジオ店△後月郡西江原町藏内ラジオ店△井原町矢吹電機店、山本ラジオ店△吉野郡高松町虎屋ラジオ店△阿哲郡新見町川上ラジオ電機商會△廣庭郡勝山町田中ラジオ研究所、久世町長谷部ラジオ店落合町澤田ラジオ店、湯原町中島

ラジオ研究所△苦田郡大野村屬取商店、香々美南村三重屋△勝田郡勝田町福島ラジオ店△英田郡江見町黒田ラジオ電機店大原町十居目喫茶室、林野町眞鍋ラジオ商會△久米郡福渡町丸藤ラジオ店、吉岡村本田時計ラジオ部

【ブスの道】等重画作品をも陳列した。昭和五年十一月には窮屈宮殿下、同じく朝香宮殿下、李鍵公殿の御成りあり、其後、高松宮殿下、同妃殿下、東久邇宮殿下、梨本宮殿下、賀陽宮殿下等の御成りありたるのみならず、その他朝野

(倉敷市新川町)  
電 貨販 五  
各種耐火モルタル製造

有限會社 五 反 田 製 粉 所

各種耐火モルタル製造

氣商會・高砂町三船ラジオ部、天瀬余公電機ラジオ店△倉敷市日の出町佐々木電機商會、稻荷町鑑田ラジオ商會△津市京町津山ラジオ電機商會堺町玉瀬ラジオ商店△御津郡金川原易瀬館ラジオ部△和氣郡香齋町友光ラジオ店△邑久郡大宮村羽原町不二ラジオ商會、邑久村奥田ラジオ電氣商會、邑久村奥田ラジオ店△鹿忍町二ツ丸商店ラジオ部△上道郡西大寺町片岡電機商會、古都村立花ラジオ店△完島郡味野町山崎屋ラジオ店△都窪郡妹尾町木古ラジオ店△浅口郡長尾町長尾ラジオ店、玉島町池上ラジオ電機商會、赤澤ラジオ店△小田郡等岡町クマダラジオ店、サキガケ營業所・アサヒラジオ商會、矢掛町中西ラジオ店△後月郡西江原町藏内ラジオ店△井原町矢吹電機店、山本ラジオ店△吉野郡高松町虎屋ラジオ店△阿哲郡新見町川上ラジオ電機商會△廣庭郡勝山町田中ラジオ研究所、久世町長谷部ラジオ店落合町澤田ラジオ店、湯原町中島

の記念室を作つた、蓋し同畫伯は本縣出身洋畫家としてその畫業頗著なるのみならず、かねて本館設立者大原孫三郎氏及び故兒島畫伯と特に親交ありしによる。

【過去一年間の入場者其他】昭和十七年四月から十八年三月までの

京都烏城會は京都に在住する岡山縣出身の美術家をもつて結成した有力な團體で池田遼邨、稻葉春生兩氏が主唱して昭和二年一月に創立した、爾來京都と岡山とで會員の作品展覽會を開いて上數回に及び、殊に郷土訪問展によつて岡山の畫壇を刺激せしめられ、又會員の個展もしばしば郷土を開かれ相當な收穫を齎してゐる、最近は會の事業中研究部の新設によつて若い作家を中心とした研究機關の充實が計畫され毎月十

京都烏城會

京都烏城會は京都に在住する岡山

の名士、一般美術愛好家の來觀するもの相ついである、同美術館は最初大原氏の個人經營であったが昭和十年三月十六日大原孫三郎、大原總一郎、兒島虎次郎、三氏の寄附行為により財團法人となつた、昭和十四年一月より故禪谷國四郎畫伯の著作十余點を陳列し同畫伯の遺物を陳列貯へし、ゴツホ作「アル

## 美術

法人 大原美術館

(倉敷市新川町)  
電 貨販 五

新溪園の外廊老樹鬱蒼たる中にギリシャ風の典雅な建築を見せてゐる、倉敷の素封家故大原孫三郎氏の創立にかかり、昭和五年十一月五日開館す、美術の研究發達に資するため大原孫三郎氏の依頼により改兒島虎次郎畫伯が蒐集の勞をとれる泰秀繪畫、埃及古美術品、外邦古陶器等と同畫伯の遺作並にその遺物を保有陳列して公開され、昭和十一年一月には泰秀繪畫の一

部を陳列貯へし、ゴツホ作「アル

文化藝術

文化藝術

文化藝術

五日落西仙壽院に部員の作品持寄  
研究會を開いてある。

【幹事】柴原希祥、稻葉春生、戸田英一

【研究部後見】稻葉春生、戸田英一

【幹事】柴原希祥、稻葉春生、戸田英一

二

沼野庄志(日) 左京區鹿ヶ谷櫻

谷筋四三、西村方

西田知都志(日) 右京區花園宮ノ上而四〇

算山正二郎(日) 右京區宇多野福

福島敏之(日) 右京區龍安寺櫻

宮町麻田方、應台中

寺松國太郎(洋) 東山線二條下

稻葉春生(日) 右京區龍安寺衣笠下町三五

岡本東陽(日) 上京區相國寺東門前町六三七

中原齋場(日) 左京區龜ヶ谷櫻谷町

秋山利彦(日) 右京區福玉寺

丸瀆大橋(日) 右京區妙心寺北門東

森女石象(日) 岡山市在住

戸田英一(日) 京都府左京區吉田近篠町二三

友賀良一長者町西延巳町

沼野庄志保田町三五、中川方

金島隆(入學中) 松岡千秋伏山二四(入學中)

秋山茂彦野田中宗集紅方

關西美術協會

【事務所】京都府左京區吉田近篠町二三戸田英一氏方

鳥城會の分身にして京都繪畫學門

學校出身及び在學中の縣出身者を

中心として興味なる研究的意圖と

親睦の下に昭和十三年五月設立さ

れたもので毎月一回づゝ同人各自

宅に作品を持ち寄り若ざと熟のあ

る研究會開催又寫生會見頃等も隨

時執行して今日に至る。

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第五回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第二回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第三回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第四回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第五回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第六回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第七回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第八回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第九回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第十回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第十一回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第十二回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第十三回展を開催し、

翌十五年十一月合同新聞社後援の

天滿屋に於て第十四回展を開催し、

【事務所】岡山市富田町、富原櫻

渕氏方

關西美術協會は明治四十三年四月

創立された岡山地方で最も歴史の

古い美術團體で、和、洋畫、彫刻

の三部が設けられ、毎年一回岡山

市に展覽會を開催し又時々講演會

を主催してゐる。岡山縣下の主な

美術家が所屬し、郷土工藝の發

達に貢獻しつゝある。

【幹事】吉田、菅、矢部久次郎

【會長】井上仰山、井上仙蘿

波多野藝涯、波多野雪香

守屋、菅原、模、森安

太田、子瀧、大藏、鶴峰

大西、太白、脇山、柳東

料治、十洲、筒、蒼波

津田、高塚、河野季治郎

吉田、芭、高塚、松堂

鳥木、栗軒、田代、文蘿

中川、白印、津島

野、芭、高塚、神崎、軒水

野、芭、高塚、河野季治郎

六九

禁酒食堂・大小集會場  
敗園人岡山林示酒會館  
酒やめて瑞穂の國の食糧守れ  
岡山市城下 電話三八五二番  
五八二五番

## 文化藝術

六三〇

菊池翠月、北遺藏、北澤樂天、田木久太、岡本金一郎、南齋造、平柳田中、東原方傳、人見少華、森安石象、須田國太郎、△幹事巖津政右衛門、吉田苞、妻井一郎、矢野棋堂、富原棋溪、△幹事幹事金海達水△會員二百余名

### 岡美會

【事務所】岡山市中之町金剛莊電四一八八

【事業】一般美術の普及を目的として日本書、油畫、書道、工藝、余技、華道、寫眞の各部その他先覺者の遺品展覽會を開催しまた美術に關する講演又は座談會開催す

### 有香社

【事務所】岡山市岩田町一六、入澤華畦方

【事業】一般美術の普及を目的として日本書、油畫、書道、工藝、余技、華道、寫眞の各部その他先覺者の遺品展覽會を開催しまた美術に關する講演又は座談會開催す

### 新山風交會

【事務所】岡山縣小田郡新山村【創立】昭和七年四月

【會員】藤田曉清、二宮信堂、中塚正齊、住友士渉、仁科杏齋、高越益村、鹽田江雲、河合猿城、龜山卯東、牧玉洲、西山松軒、渡邊之生、佐藤杏園、江木虎尾、渡邊音生、山本星峯、岡本湖山

【新山風交會】  
新山の郷には村内に於ける書畫、詩文の同好者を以て風交會を組織し毎月一回橋園栗軒書房に會合し作詩畫の揮毫に合作批評に鑑賞に鄉士先人の遺墨展を催し地方文化に貢献す

【會員】高木要軒、小倉白江、佐藤白華、木山北邨、森山路石、山青雲、曾我史郎、顧問・津田白印、坪井二州、高山精華

【組織】紅桃白梨花櫻かなる偏用新山の郷には村内に於ける書畫、詩文の同好者を以て風交會を組織し毎月一回橋園栗軒書房に會合し作詩畫の揮毫に合作批評に鑑賞に鄉士先人の遺墨展を催し地方文化に貢献す

【組織】紅桃白梨花櫻かなる偏用

【役員】會長橋本富三郎、副會長大原桂南、入澤暉江、理事花土有隣、立石苔華、淀川正充、谷龍太郎、中島茅海、内田鶴雲、熊丸米庵、松岡翠水、赤木東溪、宮岸如空、森谷金東、顧問二十名、評議員十名、幹事二十名

【事業】第一回展覽會を昭和十八年一月十四日より十七日まで天満屋四階に開く

### 岡山縣日本畫聯盟

【結成】昭和十七年九月五日

【役員】會長橋本富三郎、副會長澤忻江、谷龍太郎、大熊立治、矢部棟堂、郡山辰巳、宮岸如空、宮原模溪、森安石象、顧問十七名、評議員十二名、幹事十八名

【事業】第一回展覽會昭和十七年十月十二日より十五日まで、第二回展覽會を昭和十八年十二月一日より五日まで天満屋四階に開く

### 岡山縣洋畫聯盟

【結成】昭和十七年七月十八日

【役員】會長橋本富三郎、副會長澤忻江、谷龍太郎、大熊立治、矢部棟堂、郡山辰巳、宮岸如空、宮原模溪、森安石象、顧問十七名、評議員十二名、幹事十八名

【事業】第一回展覽會昭和十七年七月十八日岡山縣洋畫聯盟の結成を先頭に各部門の聯盟を結成し事務所をいつれも合同新聞社に設置しその運営を圖つてあるが今日までに結成されたもの左の如くである

### 岡山縣書道聯盟

【結成】昭和十七年九月二十六日

【役員】會長橋本富三郎、副會長大原桂南、入澤暉江、理事花土有隣、立石苔華、淀川正充、谷龍太郎、中島茅海、内田鶴雲、熊丸米庵、松岡翠水、赤木東溪、宮岸如空、森谷金東、顧問二十名、評議員十名、幹事二十名

【事業】第一回展覽會を昭和十八年一月十四日より十七日まで天満屋四階に開く

### 岡山縣歌人聯盟

【結成】昭和十八年七月十七日

【役員】名譽會長山田肇、會長橋本富三郎、理事入澤賢治、稻本治

如空、理事池上長右衛門、片岡銀藏、谷龍太郎、武内潔真、中山彌、大熊立治、正宗省三郎、郡山辰巳、淺羽春之、佐藤一章、袖木久太、水野賢吉、顧問二十七名、幹事十八名

【事業】第一回展覽會は昭和十一年八月二十七日より三十日四日間で天満屋四階に開催、受賛者左の如くである

【聯盟】池上夢子、齋津透郎、大倉道良、岡本直夫、平勇雄、中津瀬忠彦、小松幸子、青木正春、藤國雄、森本幸生

【事業】昭和十八年十月十日岡山縣護國神社へ會員の作品を奉獻す

【東山吟社】事務所岡山市西番町六、三好敏富氏方、大正十二年未創設、三好敏富氏を主導とし片山鴨水以下百余名の漢詩研究所で毎週二回漢詩および漢書の講義、春秋に大會を開き斯道の發展を図し、なほ和氣郡和氣郡前に双川吟社、赤松、瀬戸町沖に天山吟社を置きその擴張を圖つてゐる

【事業】岡山縣護國神社御造營竣工式を行ふ、七月第一線勇士慰問のため會員の作品を收め「郷土のかをり」を送つた、十一月七日國清寺に於て芭蕉三百五十回法要と句會を催した

### 岡山縣俳家聯盟

【結成】昭和十八年一月十七日

六三一

【役員】會長橋本風齋樓、副會長吉田寸草、谷口古杏、理事平松措大、辻彌雨、多田云居、長尾蟬水、西澤常生、井植乙、竹久尚町内藤斜川、余公寸知、中塙太々夫三宅梁史、和田綠城、貝原魁章、富松雀、大山素彩、成瀬春水、宮岸天鵝尾、西村燕々、顧問赤木光鑑太郎、松野友治、後藤虚堂、赤澤乾一、佐藤金造、生嶽義郎、宮岸加空、柴田武夫、杉鮫太郎、顧問八名、幹事十九名

### 岡山縣音樂聯盟

【事業】岡山縣護國神社御造營竣工式を行ふ、七月第一線勇士慰問のため會員の作品を收め「郷土のかをり」を送つた、十一月七日國清寺に於て芭蕉三百五十回法要と句會を催した

### 岡山縣詩文聯盟

文化藝術

## 岡山縣出版文 化報國會

### 岡山 映畫文化會

二十七日、八日、第二回鍊成會を  
七月十五日國清寺に於て催した

○不審庵吉備會

石井縣視學、原田美代治、三澤  
齋、黒田慶次、神崎松次、佐  
香榮次、小山了、椋野要、内藤  
一人、高原東、馬場千代野、近  
藤時留、菅清治、高杉謙、西山  
富佐太、小川潔、吉川忠雄、小  
林薰、馬場保太、富岡靜太、岡  
本曉男、岡長平、貝原誠道、守  
屋延夫、谷龍太郎、幹事十一名  
議員二十一名、幹事八名

## 岡山縣宣傳技術 家協會

【結成】

昭和十八年二月十日  
【役員】會長橋本富三郎、副會長  
宮岸如空、理事大熊立治、吉田德  
太郎、大庭屋泰昌、顧問六名、評  
議員二十一名、幹事八名

## 岡山縣文化協會

【結成】

昭和十八年三月二十五日  
【役員】會長橋本清吉、副會長  
龍太郎、野村雲一、大熊立治、岡  
長平、吉岡義夫、櫻間賢治、宮岸  
如空、守屋延夫、顧問十一名、幹  
事十六名

## 少國民文化協會

【結成】

昭和十八年三月二十五日  
【役員】名譽會長橋本清吉、副會長  
橋本富三郎、理事長宮岸如空、理  
事前田光嘉、能仁事教、妻井  
一郎、大熊立治、大賀矢太郎、  
成瀬正一、緒方無難、米倉守、  
事十六名

## 岡山寫眞文化協會

【結成】

昭和十八年四月二十九日  
【役員】會長會本富三郎、副會長  
會長田中貞夫、宮岸如空、理事  
池田早秋、半田一馬、大森一夫、  
河田勝、片山純一、金井太郎、  
横山知、十屋隆、鶴岡篤治郎、  
名和鍊太郎、野崎一雄、栗坂章  
治、山田孝三、佐々木貞太郎、  
三村芳景、三宅進一郎、守屋延  
夫、妹尾房一

【事業】第一回獻納寫眞展覽會を  
昭和十八年六月二十四日より二十  
七日まで天満屋四階に開く、協會  
賞五點、優狀六點

【事業】昭和十八年三月十四日岡  
山縣護國神社御造營記念獻茶式を  
行ひ千家裏流家元淡々齋千宗室宗  
匠の鐵斎なる獻茶あり終つて三ヶ  
所に落葉拜服の席を設げた、▲會員  
の第一回鍊成會を昭和十八年二月  
研究會を開く

【事業】昭和十八年一月十六日夜  
岡新報社講堂に於て十六ミリ映  
研究會を開く

【役員】會長橋本富三郎、副會長  
華山源藏、宮岸如空、理事尾谷  
半三郎、谷口久吉、小野久彦、  
龍丸米庵、鶴田江雲、顧問八名  
▲評議員十四名、幹事八名

【事業】昭和十八年三月十四日岡  
山縣護國神社御造營記念獻茶式を  
行ひ千家裏流家元淡々齋千宗室宗  
匠の鐵斎なる獻茶あり終つて三ヶ  
所に落葉拜服の席を設げた、▲會員  
の第一回鍊成會を昭和十八年二月  
研究會を開く

【事業】昭和十七年十二月六日後  
樂園能舞台に於て結成式後各流  
の素謡、舞難子、囃子、狂言等  
を催す、昭和十八年六月六日後  
樂園能舞台に於て金剛流家元金  
剛源氏の松風、金剛源氏の小鏡  
治演能、同年十月十七日各流の  
素謡舞難子、囃子、狂言等謡曲  
會を催した

玉露會（玉野市玉）

口久吉、熊丸米庵△理事山田首  
次郎、森信一△幹事長並曾計擴  
當守屋宗榮△幹事七名

○抹茶千家裏  
【事務所】岡山市内山下八八、馬  
場宗榮方  
○抹茶千家裏  
【事務所】岡山市呂之町二四八  
同（獨立）  
○抹茶千家裏  
【事務所】岡山市瓦町豊福寺  
岡山市瓦町豊福寺において毎月一  
回境内天滿宮祭日各流により立会  
がある

○抹茶千家裏  
【事務所】岡山市國富少林寺内  
【役員】支部長國富友治郎△副支  
部長赤澤乾一、石津雲二△理事  
四名△幹事十三名△評議員五十  
名  
高田宗揚、中村宗全、田渕甲子  
太、田中喜三太、小野仙四郎、奥  
江順徳以下、岡山、大賀政幸△倉  
敷△幹事十三名△評議員五十  
名  
岡村正作七  
○煎茶會流十牛會  
【事務所】岡山市下石井仲町九四  
奥田環季方  
○煎茶會流十牛會  
【事務所】岡山市下石井仲町九四  
會長中藤春陶△副會長山本宗三  
岡村正作△幹事長濱崎春喜  
○煎茶源氏流

【事務所】岡山市内山下三〇九  
佐藤曲屋宅  
○臼流  
【事務所】岡山市榮町一九  
大鷹清太郎宅  
【事務所】岡山市東田町惣昌寺境  
内覺善院内  
○煎茶阿部流  
【事務所】家元岡山市丸亀町五五  
教授者太田、鑄造岡  
納所、武吉岡  
○景福寺立釜  
【事務所】岡山市瓦町豊福寺  
事務所、岡山市國富少林寺内  
【役員】會長橋本富三郎、副會長  
佐藤清七郎、本郷平次郎△理事  
則武石泉、三宅香雪、安田興金  
小川庸夫、高田正雄、光藤一、  
藤原安次郎、近藤義包、高畠滋  
三郎、西村伊勢松、藤田新三郎  
横山茂、豊崎柳川、宮岸如空△  
顧問六名△幹事十四名△評議員  
九名  
【事業】昭和十七年十二月六日後  
樂園能舞台に於て結成式後各流  
の素謡、舞難子、囃子、狂言等  
を催す、昭和十八年六月六日後  
樂園能舞台に於て金剛流家元金  
剛源氏の松風、金剛源氏の小鏡  
治演能、同年十月十七日各流の  
素謡舞難子、囃子、狂言等謡曲  
會を催した

玉露會（玉野市玉）

## 文化藝術

六三四

(岡山市小野田町)

(師紀)三宅香雲(幹部)酒巻和人  
宇津江一郎、小野一郎、松永達  
青陽會(吉備・紀伊社町)

(師紀)三宅香雲(會員)伊丹武男  
内藤亮揚、小原田足雄、江口雅  
一、間野連作、高杉英夫、清水  
道庭

菱聲會(宝野溝外直島)  
(師紀)三宅香雲(幹部)桂川潔、  
菊地彰、池上泰、岡和男、西浦  
源太郎

香葉會(岡山市内山下)  
(師紀)三宅香雲(幹部)竹井秀子  
入澤方江、西江大枝、内藤喜久  
子、山下智恵子

眞聲會(岡山市外西口野田)(代理  
岡山市下田町小林弘之介氏電話  
六二四六)

(會主)安田真金(幹事)太田近  
治、近藤一雄、奥村雅延、森安  
文七

玉琴會(玉野市玉里)  
(師紀)安田真金(幹事)關戸春雄

田淵修  
松柏會(岡山市内田本町三丁目)  
(會主)石井滿一(幹事)三宅平左  
衛門、川上千太郎、來曾加一

香葉會(岡山市小野田町)  
太、根谷尚太郎  
(會主)渡邊重子(幹事)重寶一

菱聲會(上道郡西天寺町)  
(師紀)豊中東風(幹事)成森金三  
郎、堀英雄、山口良弼、太田新  
一郎、鈴木信太、升谷潔

香葉會(倉敷市榮町、藤田千一  
方)  
(師紀)指揮者藤田千一

岡山喜多會(岩田町四  
一)  
(會長)藤原安次郎(副會長)近藤  
義鼎(顧問)香川龜三郎

(幹事長)本郷俊(幹事)今倉正英  
西江嘉一、小原慶三郎、上林長  
四郎、片山晋吉、田中貞夫、高  
畠滋三郎、高見田夫、矢吹榮  
一、雀部千造、三宅英男、三垣  
官一、門田香苗、村主二郎

眞聲會(岡山市若町)  
幹事長田中清穂、小西清瀧、三  
宅清軒、林清曉、堀淵遊竹、木  
畑清樹、田中清慈

岡山喜多會(岡山市橋本町)  
(主催)佐藤四勿

金剛流(岡山市橋本町)  
(幹事)横山茂

土曜會(岡山市東中山下一〇〇  
丈)  
(幹事)佐川宏

太鼓 金春流 透 車子

金剛流(岡山市野田屋町)  
(主催)石川宏

○喜 多 流

岡山喜多會(岩田町四  
一)  
(會長)藤原安次郎(副會長)近藤  
義鼎(顧問)香川龜三郎

(幹事長)本郷俊(幹事)今倉正英  
西江嘉一、小原慶三郎、上林長  
四郎、片山晋吉、田中貞夫、高  
畠滋三郎、高見田夫、矢吹榮  
一、雀部千造、三宅英男、三垣  
官一、門田香苗、村主二郎

眞聲會(岡山市若町)  
幹事長田中清穂、小西清瀧、三  
宅清軒、林清曉、堀淵遊竹、木  
畑清樹、田中清慈

岡山喜多會(岡山市橋本町)  
(主催)佐藤四勿

金剛流(岡山市野田屋町)  
(幹事)横山茂

土曜會(岡山市東中山下一〇〇  
丈)  
(幹事)佐川宏

太鼓 金春流 透 車子

金剛流(岡山市野田屋町)  
(幹事)横山茂

○喜 多 流

岡山喜多會(岩田町四  
一)  
(會長)藤原安次郎(副會長)近藤  
義鼎(顧問)香川龜三郎

(幹事長)本郷俊(幹事)今倉正英  
西江嘉一、小原慶三郎、上林長  
四郎、片山晋吉、田中貞夫、高  
畠滋三郎、高見田夫、矢吹榮  
一、雀部千造、三宅英男、三垣  
官一、門田香苗、村主二郎

眞聲會(岡山市若町)  
幹事長田中清穂、小西清瀧、三  
宅清軒、林清曉、堀淵遊竹、木  
畑清樹、田中清慈

岡山喜多會(岡山市橋本町)  
(主催)佐藤四勿

金剛流(岡山市野田屋町)  
(幹事)横山茂

土曜會(岡山市東中山下一〇〇  
丈)  
(幹事)佐川宏

## 合同新聞社

## 文化賞贈呈式

合同新聞社合併五周年記念事業と  
して昭和十六年九月創設、文勲輝  
かしき郷土一般文化の向上賛成に  
貢した文化功勞者に対する第二回  
表彰式は昭和十七年二月十一日同  
社に於て舉行し賞状並に賞牌を贈  
した

郷土史學功勞者 永山卯三郎氏  
(兒島郡粒江村)  
文化普及教育功勞者 津田白  
(本慶三氏(津山市山下))  
印氏(小田井空岡町)  
第三回文化賞表彰式は昭和十八年  
十一月十四日岡山市役所參事會  
室に於て舉行し賞狀並に賞牌を贈  
呈した

郷土史學功勞者 永山卯三郎氏  
(兒島郡粒江村)  
文化普及教育功勞者 津田白  
(本慶三氏(津山市山下))  
印氏(小田井空岡町)  
第三回文化賞表彰式は昭和十八年  
十一月十四日岡山市役所參事會  
室に於て舉行し賞狀並に賞牌を贈  
呈した

郷土史學功勞者 永山卯三郎氏  
(兒島郡粒江村)  
文化普及教育功勞者 津田白  
(本慶三氏(津山市山下))  
印氏(小田井空岡町)

長橋富三郎△副會長正宗教夫  
小野久彦△理事長知矩、藤井駿  
多田利吉、岡辰平、木村一、木  
村貴一、木村兵次、西村春樹、金  
重輪陽、吉本敦、守屋福市、赤  
城鉢太郎、田中六郎、倉田万造  
平尾平助、小山富士夫、鈴木惠  
一、保田憲三、宮原如空

郷土史家 藏知矩氏(岡山市内  
山下)  
山下

松柏會(宝野溝外直島)  
(師紀)三宅香雲(幹部)桂川潔、  
菊地彰、池上泰、岡和男、西浦  
源太郎

香葉會(岡山市内山下)  
(師紀)三宅香雲(幹部)竹井秀子  
入澤方江、西江大枝、内藤喜久  
子、山下智恵子

眞聲會(岡山市外西口野田)(代理  
岡山市下田町小林弘之介氏電話  
六二四六)

(會主)安田真金(幹事)太田近  
治、近藤一雄、奥村雅延、森安  
文七

玉琴會(玉野市玉里)  
(師紀)安田真金(幹事)關戸春雄

田淵修  
松柏會(岡山市内田本町三丁目)  
(會主)石井滿一(幹事)三宅平左  
衛門、川上千太郎、來曾加一

香葉會(岡山市小野田町)  
太、根谷尚太郎  
(會主)渡邊重子(幹事)重寶一

菱聲會(上道郡西天寺町)  
(師紀)豊中東風(幹事)成森金三  
郎、堀英雄、山口良弼、太田新  
一郎、鈴木信太、升谷潔

香葉會(倉敷市榮町、藤田千一  
方)  
(師紀)指揮者藤田千一

太、根谷尚太郎  
(會主)渡邊重子(幹事)重寶一

菱聲會(倉敷市若町)  
(會主)近藤則鼎

阿山智知會(岡山市内山下)  
(幹事)今倉正晴、上林長四郎、  
門田香苗、片山晋吉、田中莊治

矢吹榮一、竹内敏治、伊原重彦  
杉浦直之丞

喜樂會(岡山市万町)  
(會主)近藤則鼎

阿山智知會(岡山市内山下)  
(幹事)今倉正晴、上林長四郎、  
門田香苗、片山晋吉、田中莊治

矢吹榮一、竹内敏治、伊原重彦  
杉浦直之丞

## 備前燒宣揚會

文化切磋者原豊治氏(倉敷市本町)  
宗教文藝家、漆間徳定氏(久米  
郡船岡南村誕生寺)

## 陶 器

に對して會員の便宜を圖るのが目的で毎月第二土曜日に鑑定研究會を開き、又年一回總會を開き本部から審査員を招聘して、鑑定或は有益なる講話を催し當日は汎く刀劍に關する相談に應じてゐる。

支部長 林 長徳  
代表幹事 小林 稔次

△庶務幹事杉野一太、堀正一郎

△繪計幹事上原次郎、岡本曾我

太郎△幹事田中築三郎、難波民之助、伊原木音一△評議會尾崎定、水口照夫、水谷清三郎、進藤忠義△會員森川小八郎、桔廣善夫、佐藤弘、杉村義義、原敏夫、杉原重治、今泉清、隅場敏雄、華信良二郎、石原秋夫、赤堀勘助、土井外海、江村繁太郎、渡邊重洲、西原龜一郎、岡本勘一、飯出田市二、加賀賛男、定本二二、加藤太郎

太郎△幹事田中築三郎、難波民之助、伊原木音一△評議會尾崎定、水口照夫、水谷清三郎、進藤忠義△會員森川小八郎、桔廣善夫、佐藤弘、杉村義義、原敏夫、杉原重治、今泉清、隅場敏雄、華信良二郎、石原秋夫、赤堀勘助、土井外海、江村繁太郎、渡邊重洲、西原龜一郎、岡本勘一、飯出田市二、加賀賛男、定本二二、加藤太郎

## 觀光

### 岡山縣觀光協會

(岡山縣商工課内)

平、永山卯三郎、小林久雄

**創立** 昭和十一年四月  
**事業概要**

(1) 觀光觀念の普及  
觀光地の宣傳及施設並觀光客の接遇等に關する連絡統制並之が指導誘致(2) 觀光保勝團體の助成並指導(3) 目的を同うする他の團體との連絡並協議(4) 觀光事業に關する情報の蒐集並報道(5) 土産品及特產品の改善並紹介に關する協力(6) 其の他本會の目的を達成するに必要と認むる事項

**役員** (會長) 岡山縣知事 (副會長) 長経済部長、岡山市長 (常任理事) 商工課長 (理事) 運輸事務所長、岡山驅長、山林課長、岡山觀光協會、倉敷地方觀光協會、美作觀光協會、玉野觀光協會、金光明、西大寺商工會、岡山神社、宇野虎一、春井宏穂 (參與) 神祇教學課長、兵庫青年課長、長庶務課長、保安課長、衛生課長、經濟保安課長、厚生課長、都市計畫課長、岡山市助役、津市助役、倉敷市助役、玉野市助役、務職託付官岸如空、岡長

**財團東亞交通公社**  
法人 (岡山縣内所) 補、全  
(岡山市下之町)  
昭和十七年度岡山縣内所の取扱數  
は左の如くである。

取扱券數  
切符發賣枚數  
切符發賣金高  
卷、六卷  
三、五元  
五六、六六

## 詩壇

### 西山泰内所

(岡山市下之町)

昭和十七年度岡山泰内所の取扱數  
は左の如くである。

取扱券數  
切符發賣枚數  
切符發賣金高  
卷、六卷  
三、五元  
五六、六六

田代二を委員長とする「日本國民詩協會」あたりが芋頭更に一步を進めて民謡興隆へ飛躍して貢びたい——會員中の本縣出身、在住者をイロハ順に舉げると西中浩、鳥越強、吉川まさを、伊達知典、竹井清之助、宇佐見藤蔵、久保田脣二、葛原博史、山本廣作、藤原誠夫、下采文男などである。鳥越強は大連にあってますく活躍してゐる。本縣民謡に盡した功績は藤原誠夫に先づ指を屈してよから

葛原博史、垂井秀雄、西山五百枝あり、多年懸賞で岡山詩壇興隆のために活動して來た堀玉陽は今回堀原審爾に漫話(懸賞)を譲り彼の意願、繼承の第十卷第一號は八月發行されたこれによると山本達太郎、藤村元、瀬波正澄、後藤虛堂、乙倉誠、鶴尾一風すなどが居る。山本達太郎をのぞく他是新人であるが、現在縣下唯一の詩林としてこの誌の今後の發展を期待してゐやう、次に一部詩人に認めら

れ「日本青年詩人聯盟員」に推薦された井上一二郎はその活動を十分に示す間もなく恨むべし、二十一の若さで昨年末長逝した、櫻筆に當りその詩作態度、力量とともに最も期待される新人として「四季」會員矢野玉一を擧げておく、彼は名譽の傷痍勇士であるが日本青年詩人聯盟所屬を契機に、この強力な詩團體を中心として更に大きく飛躍する日を期待する。

## 民謡

### 壇

戰局の進展につれて、民謡の動向も變貌してゆくのは理の當然であるが、いまだ轟つた歌謡のものを見て、完璧な歌謡なりと自認してゐる者もかなり多いやうである。民謡は形式に偏してはならないと同時に素朴な民の聲でなければならない、たゞへそれが「國民詩」と銘打たれた場合に於ても、久保

運送・用達・荷造・引越

中車・馬車・リヤーカー・自轉車ニ依ル陸上・運搬一切



# 岡山陸運

本社・東中山下  
電話3869・5956

營業所	電話
瀬前院	3762
赤病院	6908
天日町	7457
西番山町	3371
西番山町	7533
西番山町	4414
西番山町	7829
西番山町	5442
西番山町	4223
西番山町	7730
西番山町	7503
西番山町	2929
西番山町	5880
西番山町	5589

う、次いで白銀錦完と稱してゐた時代の伊達知典(出征中)、また「民謡部落」等に據り活動してゐる高橋重雄やこれも出征中の三村照峰など期待してい、民謡作家であるなほ支那事變に參加、暫らく詩筆を絶つてゐた中村甲陽も歸還してゐることだから、この際大同團結して美しくも逞し、民謡の花を咲かせ、實を結はせてほしいと思ふ(石原、下采、葛原、伊達、吉田、垂井などについては「詩壇」を參照されたい)——このほか大養智(在滿洲)杉明一、英治二、吉澤勝、森田鳴海、河合紅華など「重慶台」した氣持でそれぞれの持味を活かして貢ひたい、とかく民謡不振の聲をきくとき、その感切なるものがある(昭和十八・八)

## 川 柳

勝利へ勝利へ押し進める一步々々そこには必ず勝利への生活があり記録がある。その記録を詩化する使命に生きる柳人は、戰闘とか休

う、次いで白銀錦完と稱してゐた

時代の伊達知典(出征中)、また「民

謡部落」等に據り活動してゐる高

橋重雄やこれも出征中の三村照峰

など期待してい、民謡作家である

なほ支那事變に參加、暫らく詩筆

を絶つてゐた中村甲陽も歸還して

ゐることだから、この際大同團結

して美しくも逞し、民謡の花を咲

かせ、實を結はせてほしいと思

ふ(石原、下采、葛原、伊達、吉

田、垂井などについては「詩壇」を

參照されたい)——このほか大

養智(在滿洲)杉明一、英治二、吉

澤勝、森田鳴海、河合紅華など

「重慶台」した氣持でそれぞれの持

味を活かして貢ひたい、とかく

民謡不振の聲をきくとき、その感

切なるものがある(昭和十八・八)

農耕をそねにあててゐるのである

しかもそれが、自分自身の記録詩

化である。から農歌である。この尊

い一つの姿が、戰線から職場

から届けられて来る。それがまと

められて翻ふ一帳々々が産れてゐ

る。まことにこれこそ何の私怨もな

きお國へ／＼の汗の姿であり、死

を怖れぬ姿である。こゝは幾千キ

ロの距離も立場も撇去しお互は謀

を通じて其の便観を祝し合ひ、益

益敵撃滅への誓ひを新たにするの

である。これが大東亞の詩業に參

じてゐる川柳岡山が誇る(立川

柳)「春寒竹溪雪氏主宰、昭和十八

年八月百十三稿である。幹部

のあらましと云へる。「立川

柳」春寒竹溪雪氏主宰、昭和十八

年八月百十三稿である。幹部

協力団は、會賓井上天人、山岡譲

生の西氏を初め、岸本羽衣、佐藤

洞、岡本鷗夢、川上為男、吉井一

男、佐々木三福、三村弘陀郎の諸

氏で會員五百、月刊一部二十錢發

行所倉敷市住吉町二四三立體川柳

研究會

◆一箇年の記録 立體川柳賞句第

五回受賞者浅野素堂中日魁清水

山川 安雄(倉妙子 同三(岡

中村 石美(岡)吉田 二郎(同)

田中 鹿道(岡)今山 仙友(玉)

白石伊之吉(御)池野 豊太(岡)

谷 喜夫(岡)近井 玉泉(倉)

難波 三郎(木下 深雲(岡)

窪田 翼(岡)三島 寂庵(後)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

木口 九峰(岡)白神 治(岡)

岸本伊吉郎(上大久保百鬼(倉)

横山 正意(岡)佐藤 正(岡)

窪田 一郎(木下 深雲(岡)

理事 石川天外(岡)中野定松(岡)

本部 東京市渋谷區青葉町五丁目

總務

常任總務(中國)

○全日本華道協會

本部 東京市渋谷區青葉町五丁目

總務

名譽部長 總理 田中 貞夫

監事 二十七名

参加流派 專敬、池坊、吉備專敬

流、小原流、日本華新生派、桑

原專慶流、吉備未生流、容藝流、

海雲養鳳流、御室御流、古流、

生才流、美笑流、美庄流、齊御

室御流、表池坊、遠山流、遠洲

流、孤蓬源流、豊宗流、山陽

流、肥藤未生流、專正池坊

○華道專敬流岡山協會

事務所 岡山市天瀬細堀、守家

理事長 木下 南枝(岡)

三郎方

○華道專敬流岡山協會

事務所 岡山市天瀬細堀、守家

三郎方

## 高級耐火煉瓦製造

社長 高木 松治

電話二石局九番

岡山縣和氣郡二石町

事務所 上道郡財田村長岡屋前

平方

事務所 都津郡手山村、友野耕

晴方

事務所 吉備郡生石村、中川博

名谷

事務所 赤磐郡西山村、萬城勇

治方

事務所 赤磐郡西山村、萬城勇

○華道家元池坊華道會

岡山支部(香華會)

【事務所】岡山市西中山下五五、小引内心方(電呼六、〇九〇)

支部役員幹事及評議員

小引 内心(岡)矢杉 菊板(岡)

田中 二三(岡)福鷲 由久(岡)

大森 宗心(岡)入澤(月房)岡

高杉儀三郎(岡)坂上 宗寒(玉)

中塚 淡心(岡)石井ヨシ子(岡)

長谷川竹代(岡)岡田 滋子(岡)

本田 やすの(岡)二階賣玉水(岡)

小橋 末美(岡)坂本 登和(岡)

○池坊華道會數市支部

【事務所】倉敷市旭町近井玉泉(今)

川仙友方 支部長

今川 友仙

○池坊華道會玉野市支部

支部長 近井 玉泉

川敏夫方

【事務所】玉野市藤井三六八、今

支部長

今川 友仙

○池坊華道會和氣郡支部

支部長 川敏夫方

【事務所】和氣郡三石町三石、丸

支部長

【事務所】和氣郡三石町三石、丸

文化藝能

六四一

森山 清山(道)(竹本 晴山(道))

孤山 流

佐藤 菅山 前田 遠山

木谷 竹山

琴古流 秀瑞(岡)水木 鈴洞(岡)

佐藤 秀水(岡)

佐藤 秀水(岡)

後藤

秀瑞(岡)水木 鈴洞(岡)

佐藤 秀水(岡)

佐藤和歌、平山松子

道壽(岡)木田道晴(蒙古)寺島

道壽(岡)木田道晴(蒙古)寺島

道壽(岡)木田道晴(蒙古)寺島

○前記 卜部道志都(京)是佐良木

道壽(岡)木田道晴(蒙古)寺島

道壽(岡)木田道晴(蒙古)寺島

○前記 卜部道志都(京)是佐良木

道壽(岡)木田道晴(蒙古)寺島

魔取 和友(御)

幹車 石村君子、波多野美子、

山利雄方(電三、五五)

研精會(稀賣家和三郎門下)

稀賣家和三郎美武井惠美子(岡)

大佳也會(稀賣家和三郎美武井惠美子(岡))

指導研精會稀賣家六佳也

稽古場(新木知代子)

當道音樂會岡山縣支部

(吉備郡高松町)

小山加代野

方

岡山綠會(岡山勝謹會)

杵屋勝吉指導

事務所(岡山市葵町、政木トク)

翠會(杵屋勝次郎指導)

事務所(岡山市東中山下、中村

イワ方

杵屋勝治(岡)杵屋六代(岡)

杵屋卯之助(岡)大橋 八十(岡)

杵屋勝壽女(岡)森田 清野(岡)

杵屋六加津(岡)杵屋 六津(岡)

研精會小露々會

師匠稀賣家小露々會

北村

杵屋(岡)草野

天野

杵風(岡)稻垣

大畠

杵風(道)大庭

杉山

杵風(道)住田

内藤

杵風(道)田淵

橋崎

杵風(道)浮田

小野

杵風(道)旭

同旭會

北村

杵風(岡)草野

天野

杵風(岡)稻垣

大畠

杵風(道)大庭

杉山

杵風(道)住田

内藤

杵風(道)田淵

橋崎

事務所(岡山市内山下三〇、久

山利雄方(電三、五五)

研精會(稀賣家和三郎門下)

稀賣家和三郎美武井惠美子(岡)

大佳也會(稀賣家和三郎美武井惠美子(岡))

指導研精會稀賣家六佳也

稽古場(新木知代子)

當道音樂會岡山縣支部

(吉備郡高松町)

小山加代野

方

薩摩琵琶

汲本 薩摩(岡)

轉部 薩摩(岡)料治 麻方(岡)

河田 英水(小)寺岡 寒水(岡)

言岡 胡城(岡)長尾 摂山(洋)

井上 岳水(御)

筑前大東會 深谷 旭紅(岡)

北村 旭暎(岡)草野

天野 旭風(岡)稻垣

大畠 旭風(道)大庭

杉山 旭風(道)住田

内藤 旭風(道)田淵

橋崎 旭風(道)浮田

小野 旭風(道)旭

同旭會

北村

杵風(岡)稻垣

天野

杵風(道)大庭

大畠

杵風(道)住田

杉山

杵風(道)田淵

内藤

杵風(道)浮田

橋崎

杵風(道)旭

同旭會

北村

杵風(岡)稻垣

天野

杵風(道)大庭

大畠

杵風(道)住田

杉山

杵風(道)田淵

内藤

杵風(道)浮田

橋崎

同花園會 荒尾 横尾(岡)

芳澤 此吉(岡)野樂源之助(岡)

竹本加賀太夫(岡)竹本角子代(岡)

豊澤 壮一郎(兒)豊澤信猿系(兒)

豊澤 千鶴都(豊澤)住昇(兒)

豊澤 新次(津)豊澤健一郎(道)

守谷 相芳(御)袖崎(守)

長屋 相安(岡)矢吹(長屋)

渡邊 相都(倉)渡邊(相都)

長屋 相安(岡)矢吹(長屋)

渡邊 相都(倉)渡邊(相都)

長屋 相安(岡)矢吹(長屋)

芝佳久 織田 信久(岡)

文化部

六四四

【創立】大正十一年十一月

【母貝】曾禰橋本清吉△副會長渡邊善雄(傳明)柳澤謙△佛中芳賀要一(華作)土井英治△幹事長

大藏襄、岸田幹事小林正孝△幹事長

事安原茂、光三郎、宇垣弘一、

鶴村俊二、福田勝弘、池田可夫

西林三平△支部長、各幹事長

釣魚

岡山縣釣魚具製造販賣組合  
【事務所】岡山市瓦町七二岡野忠明

明方

【創立】昭和十五年六月

【役員】會長森脇金七△副農稻垣高盛△理事堀家敏太、田中義

六、鹿原社雄、石川彌三郎、濱田繁、難波信一△津山支部長稻垣高盛△高梁支部長井舊太郎

△倉敷支部長出原末吉△久太寺支部長神谷才次△書記岡野忠明

園藝

日本農院岡山支

有段者

(以上研究所有するもの)

仁科 鳴月(岡)小野 隆(岡)

石川 宏(岡)小幡 正夫(岡)

川口 政一(岡)

青井 次郎(岡)都志 太郎(岡)

川口 正利(岡)

岡本 實雄(英)白神 稔(倉)

軸原 竜一(岡)三宅 勝次郎(小)

田部 浩(岡)橘本 猛夫(岡)

初段

畠山 藤太郎(淺)小野田時雄(利)

神矢 守治(岡)横山 嘉雄(倉)

藤村 延弘(阿)瀧波 麗(岡)

三村 木村

四村 木村

五村 木村

六村 木村

七村 木村

八村 木村

九村 木村

十村 木村

映畫

【事務所】岡山縣運輸課内  
【創立】昭和十八年八月三日  
【事業】國策の宣傳協力、興行の刷新向上、官廳との連絡協調、映

岡山市花月園藝組合

岡山市内山下花卉市場内

文化部

文化部能

社會式株業工和大

（57）座銀番鑄（ルビ幸御）五ノ六西京銀番滿京都京東（所業營上）

（57）座

書演劇、演藝及び競技の配給調整  
興行場の警防、保健衛生の改善、  
資材配給上の連絡、會員從業員の  
教養鍛成、相互の福利厚生施設お  
よび表彰

【役員】支部長渡辺謙一郎△副  
支部長大澤保安課長△參與關係課  
長、各營業課長△事務長團長△映  
畫部長鳥井徳太郎△演劇演藝部長  
柴田勝治郎△假設興行部長川上富  
士太△縣下各興行者を支部員とし  
主要地六ヶ所に分會を設く

### 岡山縣農業會立

#### 各種團體統合

岡山縣農業會、縣畜產組合、縣產物  
產業組合中央會縣支會、縣營農組  
合等受命法人六十二、任意團體二  
十一、任意團體二十ー計八十三團  
體は統合して岡山縣農業會を創設  
し十二月一日總會を開いて役員を  
決定した

會長 原 澄治  
副會長 土屋 選市  
同 同 島村 軍次

岡山縣漁業組合聯合會は岡山縣水  
產美會と改組し新設足した役員左  
の如くである

### 岡山縣水產業會

監事 大野正夫、河原一雄、岸信  
男、川口與太郎、池田兼三  
評議會 高見章夫、國端達太、陶  
浪歡太、額田治郎、柏山八郎治  
白神壽、岩井鶴・松田寅、藤井  
円太郎、渡邊義夫

田勝弘(英田)、船曳龜一(久米)、村  
用光(吉田)、田口梁兵(勝田)、福

上右邊

【新務所】岡山市百市一四〇一  
務部長岸正一、有元鄉治郎、小  
島銀治、佐藤信夫、三宅千秋、  
現須保雄、齋賀邦治、江木節夫  
支部長御津山本徵雄(赤磐)  
加賀天童(利家)、高原紀次郎(邑  
久高祖鶴雄(上道)、吉田茂(兒  
島)、高橋不誠太(都津)、江口武雄  
伍(後月)、早川謙造吉傳、加藤三  
郎(上房)、仁熊助右衛門(川上)、泉  
卯助(同哲)、羽場盛太郎(眞庭)、上  
田勝弘(英田)、船曳龜一(久米)、村  
用光(吉田)、田口梁兵(勝田)、福

化工株式會社と改稱することとな  
つた

倉敷紡織株式會社は今回倉敷航空  
行政機構改正に  
より官吏職員、各學校教師の異動  
あり、また退職、死じの向あり訂  
正間に合ひ兼ねしものはその儘に  
なしあれば御諒承を乞ふ

### 新開販賣所

【新務所】岡山市百市一四〇一  
務部長岸正一、有元郷治郎、小  
島銀治、佐藤信夫、三宅千秋、  
現須保雄、齋賀邦治、江木節夫  
支部長御津山本徵雄(赤磐)  
加賀天童(利家)、高原紀次郎(邑  
久高祖鶴雄(上道)、吉田茂(兒  
島)、高橋不誠太(都津)、江口武雄  
伍(後月)、早川謙造吉傳、加藤三  
郎(上房)、仁熊助右衛門(川上)、泉  
卯助(同哲)、羽場盛太郎(眞庭)、上  
田勝弘(英田)、船曳龜一(久米)、村  
用光(吉田)、田口梁兵(勝田)、福

岡山新聞販賣所(内山下) 電話、莫  
中北配給所(植屋町) 電話、モ  
岡西同(富田町) 電話、モ  
南同(内田西本町) 電話、モ  
旭東同(中納言) 電話、モ  
岡西同(巣井) 電話、モ  
南尾島同(原尾島) 電話、モ  
旭東同(平井) 電話、モ  
岡西同(福瀬) 電話、モ  
南尾島同(原尾島) 電話、モ  
平井同(平井) 電話、モ  
福瀬同(福瀬) 電話、モ  
大學生院同(大學生院) 電話、モ  
鐵道弘濟同(鐵道弘濟) 電話、モ  
○御津郡 芳田配給所(芳田村西市)  
大野同(大野村鉢殿) 玉柏同(牧石村玉柏)  
金川同(金川町) 電金川  
野々口配給所(宇垣村) 玉柏同(牧石村玉柏)  
長田販賣所(長田村) 建部同(建部村福渡美呼)  
玉柏同(牧石村玉柏) 玉柏同(牧石村)  
金川同(金川町) 電金川  
大學生院同(大學生院) 電大學生院  
○赤穂郡 濱戸販賣所(濱戸町) 馬瀬戸  
○高屋郡 中北配給所(植屋町) 電中北  
○吉備郡 新本配給所(新本村) 吉田同(吉田村)  
高松販賣所(高松町) 高松販賣所(高松町)  
○津日郡 稲田販賣所(前田村) 稲田販賣所(前田村)  
○上房郡 上竹莊同(上竹莊村) 上竹莊同(上竹莊村)  
大和郡 吉守販賣所(大井村) 吉守販賣所(大井村)  
○川上郡 美袋販賣所(日美村) 美袋販賣所(日美村)  
○阿哲郡 重総社同(大和村) 重総社同(大和村)  
○阿哲郡 手野販賣所(手野村) 手野販賣所(手野村)

【新聞販賣所】岡山市百市一四〇一  
新務所(内山下) 電話、莫  
中北配給所(植屋町) 電話、モ  
岡西同(富田町) 電話、モ  
南同(内田西本町) 電話、モ  
旭東同(中納言) 電話、モ  
岡西同(巣井) 電話、モ  
南尾島同(原尾島) 電話、モ  
平井同(平井) 電話、モ  
福瀬同(福瀬) 電話、モ  
大學生院同(大學生院) 電話、モ  
鐵道弘濟同(鐵道弘濟) 電話、モ  
○御津郡 芳田配給所(芳田村西市)  
大野同(大野村鉢殿) 玉柏同(牧石村玉柏)  
金川同(金川町) 電金川  
野々口配給所(宇垣村) 玉柏同(牧石村玉柏)  
長田販賣所(長田村) 建部同(建部村福渡美呼)  
玉柏同(牧石村玉柏) 玉柏同(牧石村)  
金川同(金川町) 電金川  
大學生院同(大學生院) 電大學生院  
○赤穂郡 濱戸販賣所(濱戸町) 馬瀬戸  
○高屋郡 中北配給所(植屋町) 電中北  
○吉備郡 新本配給所(新本村) 吉田同(吉田村)  
高松販賣所(高松町) 高松販賣所(高松町)  
○津日郡 稲田販賣所(前田村) 稲田販賣所(前田村)  
○上房郡 上竹莊同(上竹莊村) 上竹莊同(上竹莊村)  
大和郡 吉守販賣所(大井村) 吉守販賣所(大井村)  
○川上郡 美袋販賣所(日美村) 美袋販賣所(日美村)  
○阿哲郡 重総社同(大和村) 重総社同(大和村)  
○阿哲郡 手野販賣所(手野村) 手野販賣所(手野村)



天美仁庄  
明月研究所

發賣二十五週年

閩山市內  
一六山下  
四五一五〇  
一二三市  
山話閩

社長 村川春子  
村川純義

合計賣價 一円三十一錢  
岡山市東中山下四十番地  
株式會社 合同新聞社  
編輯兼發行者 周 藤 二 郎  
印 刷 者 岡山市瀬本町一〇番地之二  
元岡一〇二 假 谷 信 夫  
岡山市上伊福一九〇之六  
印 刷 所 合 同 新 聞 社  
發行所 四十番地 株式 合 同 新 聞 社  
東京都神田區 淡路町一丁目  
配給元 日本出版配給株式會社

西原	鶴	福渡	大大
川	柄	渡所	原吉
同	同	○久	同
同	同	(大原町)	
西用	鶴	福渡町	米郡
村	田	電福渡	(青野村)
(井和村)	電	元	
(西用村)	坪	(大原町)	
	八	(弓削町)	
		電弓削	
坪	千	久	吉
井	代	米	龜
同	田	岡	逐弓
同	同	甲	同
大井	同	生	同
西村	同	削	(弓削町)
		(稻岡南村)	
		(吉岡村)	
		(加美村)	
		(久米村)	
		(大井東村)	
		(大井西村)	



14.4

1075

## 定期小口混載貨物

電6.681

岡山市内山下30

岡山區間營業所



## 貸切貨物申込八

## 各營業所並電話番號

岡山大供	岡山2948	宇野	宇野180	成羽	成羽35
岡山研	岡山4616	田口	琴浦102	新見	新見136
岡山伊福	岡山7517	倉敷	倉敷175	津山	津山2
西大寺	西大寺507	玉島	玉島341	勝山	勝山65
和氣	和氣230	總社	總社53	林野	林野58
瀬戸	瀬戸36	矢掛	矢掛53	西川	西川8甲
金川	金川12	井原	井原315	勝間田	植月3
宇垣	宇垣2	高梁	高梁234	水島	倉敷919

## 岡山縣貨物運送株式會社

本社 岡山市上伊福294 電4115 5517  
7537 8082廣島貿易局管内  
岡山縣稅務代理士名鑑

稅務代理士 仁科柚一郎

事務所 岡山市上伊福津倉二十九

稅務代理士 渡邊近一

事務所 倉敷市住吉町二二八

稅務代理士 脇屋保

事務所 岡山市児島町四一

稅務代理士 久山八十吉事務所

(電話八三六番)

事務所 岡山市石關町二二三

稅務代理士 田中三義

(電話二三四三番)

事務所 岡山市東中山下

稅務代理士 平岡事務所

(電話六一九七番)  
(イロハ順)

事務所 岡山市大供二丁目

稅務代理士 秋山事務所

(電話三六七六番)

事務所 岡山市門田屋敷六四

稅務代理士 山下良久

事務所 吾田郡高野村大字押入

大藏大臣許可稅務代理士

終

配給部

岡山市下之町  
天滿屋

代表電話6831・6881番  
振替口座岡山53番



倉敷店  
倉敷市旭町

福山店  
福山市築町

玉野配給所  
玉野市榮町